大切なものがあるから
Kb Device

デジタルビデオレコーダー
EHVR-1000
取扱説明書

お客様へ

このたびは弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使い下さい。

また、お読みになった後は、いつでも見られるように場所を定めて保管して下さい。

株式会社ケービデバイス

改訂履歴

日付	版数	改訂内容
2011.10.11	初版	初版とする
2011.10.27	2 版	仕様欄の寸法値・寸法図の改訂
2011.11.25	2.1 版	映像出力設定、バックアップ、Q&A、記録時間表の改訂
2011.12.12	3 版	リモコンの改訂
2012.1.11	3.1 版	仕様欄の音声機能追加

限定保証

（株)ケービデバイスは EHVR-1000 が、頒付されている仕様条件にしたがって製造されたもので、材料上または仕上げ上欠陥がないことを保証いたします。

したがって、(株)ケービデバイスは弊社へ返送していただいたもので、弊社が点検して材料および仕上げに欠陥があると判断した場合には、弊社の責任の元で修理、もしくは交換をいたします。なお、この保証は、日本国内で購入され、購入後１年間かつ日本国内で使用されるEHVR-1000についてのみ有効なものとします。

免責事項

（株)ケービデバイスは市場性や市販性に関する保証、特定の目的または用途に関する保証、もしくは特許侵害に対する保証など、本保証条件以外のものは一切保証いたしません。(株)ケービデバイスは、いかなる直接的損害、付帯的もしくは間接的な損害金、あるいは欠陥製品もしくは製品の使用に起因する損失金または費用については何ら責任を負わないものとします。そのような損害の発生があることについてあらかじめ知らされていた場合についても同様なものとします。この結果、EHVR-1000 は『現状』で販売されるものです。お客様は EHVR-1000 の使用、ならびに EHVR-1000 を使用して得られる結果に関する一切の責任を負うものとします。この保証は、最初の購入者であるお客様（1ユーザ）に対して適用され、お客様が EHVR-1000 を転売された第三者には適用されません。(株)ケービデバイスは第三者からの、または第三者のためになすお客様からのいかなる請求に関しても責任を負わないものとします。

以下にあげる場合は、保証の対象外とさせていただきます。

① 火災・地震、第三者による行為、その他の事故によりEHVR-1000の不具合が発生した場合。
② お客様の故意もしくは過失、誤用、乱用その他の異常な条件下での仕様により EHVR-1000 の不具合が発生した場合。
③ お客様がEHVR-1000に手を加えて改造、修理した場合。
④ ユーザシステムの使用や使用方法に起因して発生した損害等について。

目次

安全にお使いいただくために ・・・

３．４　録画装置 ・・・

6章 PTZ コントロール 6-1

6．1 PTZ コントロールを行う前に ・・ 6-1
6．2 PTZ コントロールパネル ・・・ 6-2

7章 遠隔監視 7-1

7．1 クライアントソフトのインストール ・・・ 7-2
7．2 UMS クライアント ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

安全にお使いいただくために

- EHVR-1000 をご使用になる前に、必ず本書をよく読んで下さい。
- 本書は必ず保管し、使用上不明な点等がある場合には再読し、ご確認下さい。
- 本書を十分理解せずに EHVR-1000 をご使用にならないで下さい。
- EHVR-1000 の仕様範囲を超える条件において使用された場合については、動作は保証しかねますのでご了承願います。
- EHVR-1000 は、宇宙、航空、医療、原子力、運輸、交通、各種安全装置など人命、事故にかかわる特別な品質、信頼性等が要求される用途でご使用にならないで下さい。
- EHVR-1000 は防犯カメラと組み合わせて使用することによって、犯罪の抑止と犯罪行為の証拠の記録を行うものであり、それ自体で犯罪を未然に防ぐものではありません。

【 表示および図記号について 】

本書では機器を安全に正しくご使用いただくために、さまざまな表示をしています。
内容をご理解の上、本文をよくお読み下さい。

注意記号	禁止記号			指示記号		
一般注意	一般禁止	接触禁止	分解禁止	一般指示	電源を抜く	アース接続

警告
正しくご使用いただけない場合、死亡もしくは重傷につながる恐れがあります。

● 水にぬらさない

火災や感電の恐れがあるため、湿気の多い場所（温度、湿度変化の激しい場所）や水の入る場所に設置しないで下さい。

● 指定の電源電圧を超えない

表示された電源電圧を超える電圧を加えないで下さい。
火災および感電の恐れがあります。

● アースを接続する

電源コードは、AC100V（50/60Hz）のアース付きコンセントのみにつないで下さい。
アースなし電源コンセントにつないだ場合には、火災および感電の恐れがあります。

● 分解、改造をしない

本製品を分解・改造しないで下さい。感電や火災の原因になります。メンテナンスや検査が必要な場合には、製品を購入いただいた販売店にご連絡下さい。

● 液体や金属片を上に置かない、挿入しない

本製品の上に、水の入った容器や金属製のゴミなどの異物を置いたり挿入したりしないで下さい。本体内に液体や金属が入ると、火災および感電の恐れがあります。

● 電源コードについて

電源コードが損傷すると火災および感電の恐れがあります。以下をお守り下さい。

- 電源コードの上に重いものを置かないで下さい。
- 切れ目を入れる、折り曲げる、ねじる、引っ張る、熱するなどをしないで下さい。
- 本製品同梱の電源コード以外のものを使用しないで下さい。

● 異常が発生したとき

以下の場合は直ちに電源を切り、電源コードを抜いて販売店にご相談下さい。

- 本体から煙や異臭または異音が発生したとき
- 落下などにより本体または電源コードが損傷したとき

● 落雷時は触れない

落雷があったときは、本体や電源コードに触れないで下さい。感電の恐れがあります。
落雷により異常が発生した場合は販売店にご相談下さい。

注意
正しくご使用頂けない場合、人の怪我または物理的損傷につながる恐れがあります。

● ぬれた手で触れない

濡れた手で本体および電源コードに触れないで下さい。
感電の恐れがあります。

● コードを置いたままにしない

電源コード、その他のケーブルを通路に置いたままにしないで下さい。
通った人が足を引っ掛けて転ぶ恐れがあります。

● 外部接続のときは外部装置の電源を切る

本製品に外部装置をつなげる場合は、それらの装置の電源が切れていることを確認してから接続して下さい。
本製品およびカメラからの過電流による感電の恐れがあります。

● 製品に異物がついたとき

製品に異物がついた場合には、やわらかい布またはハンカチで取り除いて下さい。
異物の除去のために薬剤（シンナー、溶剤など）は使用しないで下さい。

● 使用する場所に注意

以下の場所で使用または保管しないで下さい。

- 温度が極端に低いか、高い場所
- 湿度の高い場所、またはエアコンの前のように温度が急激に変化する場所
- 埃っぽい場所
- 製品の両側の通気穴からの放熱が妨げられる場所

● 磁気を帯びたものを置かない

クレジットカード、テレフォンカード、通帳、その他磁気を帯びたものを製品の近くに置かないで下さい。

● 静電気に注意

静電気は製品内部に損傷を起こす可能性があります。製品のリアパネルおよび内部電子部品に触る前には、体内の静電気を除去して下さい。

● 法規に準拠した廃棄を

本製品が修理不可能なほどの損傷を受けた場合、または製品を廃棄する場合には、鉛、バッテリー、プラスチックなどの廃棄物に関するその地域の法規に準拠して廃棄して下さい。

使用上のご注意

- 仕様の動作温度、湿度の範囲外の環境で本製品を使用しないで下さい。
- 通風口にほこりがたまった場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、通風口の掃除をして下さい。通風口の掃除は年1回程度を目安に行って下さい。
- 強力な磁界や電界がある場所に設置しないで下さい。映像が乱れたり機器が故障したりする恐れがあります。
- 電源が不安定な場合、または感電が生じた場合には、製品は適切に作動しない可能性があります。必ず正しい定格電圧で使用するようにして下さい。
- 本製品は、停電に備えて設計されていますが、停電により損傷を受ける可能性もあります。
  その場合、使用中のデータが損傷したり、記録されなかったりすることがあります。
  無停電電源装置(UPS)を使用することを推奨します。
- 本製品はビデオデータをHDDに録画する設計ですので、HDDのエラーまたはその他のエラーにより、製品が正常的に録画できない場合があります。
  製品の適切な運転のためには、定期的なメンテナンスが必要です。
- 本製品は、ユーザーが自由に好みの設定を行える設計になっています。
  しかし、ユーザーの設定エラーが、誤作動につながる場合があります。
- 本製品は外部機器(カメラ、センサー、USB装置、LAN、HDDなど)と接続して使用しているため、外部要因による誤作動の恐れがあります。安定した運用のため定期的なメンテナンスを推奨します。
- 本機は水平位置で使用するよう設計されています。垂直や傾けての使用はできません。
- HDDが故障した場合、弊社では記録したデータの復旧はできません。重要なデータはあらかじめバックアップをとって下さい。
- 本製品で記録された映像情報は個人情報やプライバシーに係る機密情報が含まれる場合がありますので「個人情報保護法」に準拠した取扱いを実施されることをお勧め致します。
- 本製品は精密機器です。振動や強い衝撃を与えないで下さい。
  火災や感電、本体の破損につながります。
- 本製品で記録された映像情報は個人情報やプライバシーに係る機密情報が含まれる場合があります。「個人情報保護法」に準拠した取扱いを実施されることをお勧め致します。
- 運送時の落下、振動によって発生した機器の破損についての責任を弊社は負うことができません。あらかじめご了承下さい。
- 本製品内に使用しているHDD・FAN・電源等の消耗品は長期間の使用で交換が必要となる場合があります。長期間使用の際はあらかじめ販売店にメンテナンスのご相談をお勧め致します。
- 本製品に対し、改良のため予告なく仕様の一部を変更することがあります。
  (ハードウェア、ソフトウェア、文書等)

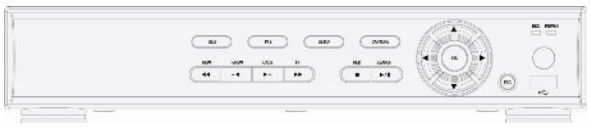
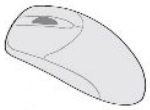
1章　はじめに

1．1　概要

EHVR-1000 は、アナログカメラ用のデジタルビデオレコーダーです。
4 台までのカメラを接続することができます。
録画には、圧縮率の高い H.264 形式を採用しております。
EHVR-1000 の操作には主にマウスを用います。
その他に本体前面パネル、リモコンでも操作が可能です。

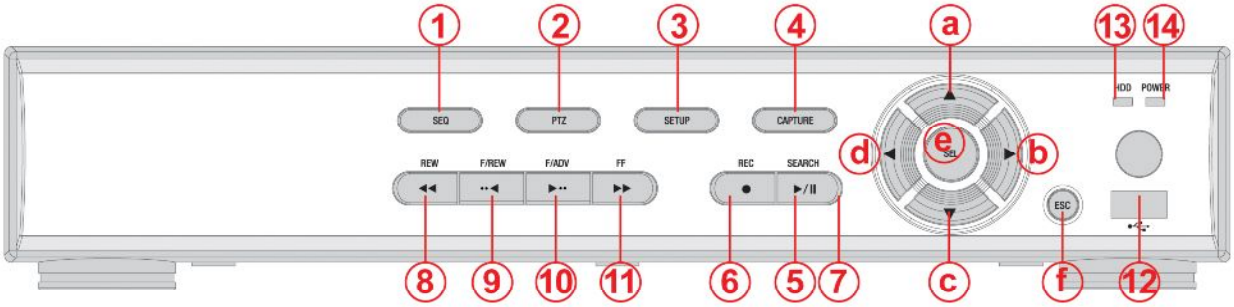
1．2　セット内容

以下のものが入っているかご確認下さい。

DVR 本体	
クライアント CD	
リモコン	
マウス	
リモコン用の電池 1.5V	
取扱説明書(本書)	
アダプタ・電源ケーブル(110V) (DC12V 3A)	

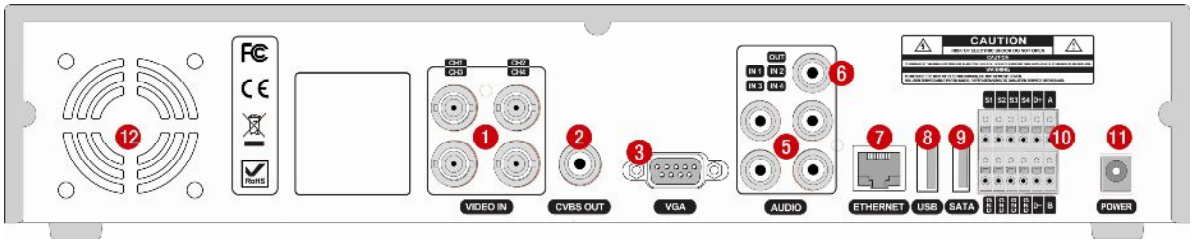
1．3　外観

【　前面パネル　】



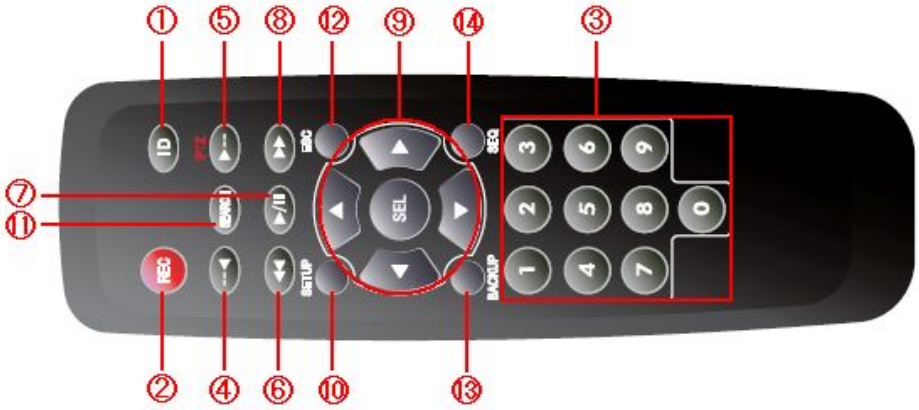
No.	名前	用途
1	SEQ	画面自動切換え（シーケンス表示）を入/切にします。
2	PTZ	PTZ コントロールメニューに入ります。
3	SETUP	設定メニューに入ります。
4	CAPTURE	ライブ映像や再生映像を静止画または動画で保存します。
5	SEARCH	検索メニューに入ります。
6	REC	手動録画を開始/中止します。
7	PLAY/PAUSE	再生時、映像を静止/再生します。
8	REW	再生時、早戻しします。
9	F/REW	再生時、1 分前の映像にジャンプします。 映像が停止状態で押した場合は、1 フレームずつ前へ移動します。
10	F/ADV	再生時、1 分後の映像にジャンプします。 映像が停止状態で押した場合は、1 フレームずつ先へ移動します。
11	FF	再生時、早送りします。
12	USB ポート	マウスまたは USB メモリを接続します。
13	HDD ランプ	録画や再生動作を行っている間に点灯されています。
14	電源ランプ	電源が入っている間に点灯されています。
a	◄	カーソルを左に動かしたり、設定値を変更したりします。
b	▲	カーソルを上に動かします。
c	►	カーソルを右に動かしたり、設定値を変更したりします。
d	▼	カーソルを下に動かします。
e		選択した項目を確定します。
f		前画面に戻ります。

【 背面パネル 】



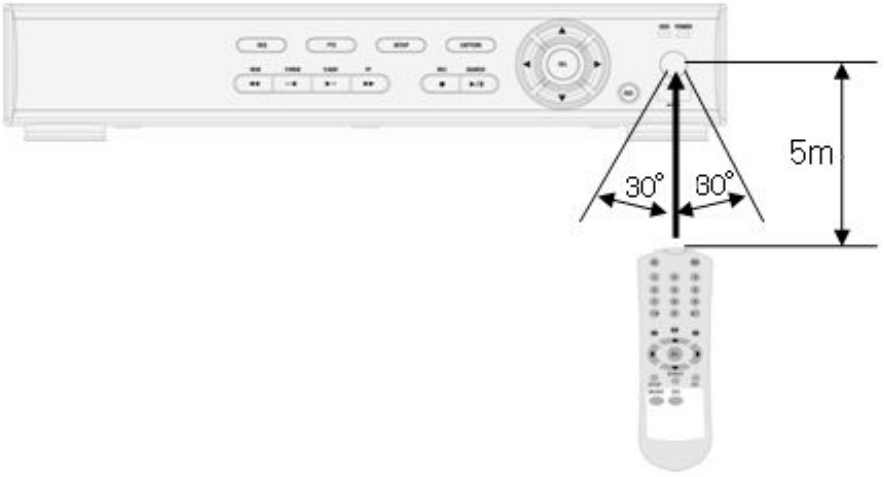
No.	名前	用途
1	VIDEO IN	映像入力端子です。
2	CVBS OUT	映像出力端子です。
3	VGA	メイン画面出力端子です。
4	RS-232C	使用できません。
5	AUDIO IN	音声入力端子です。
6	AUDIO OUT	音声出力端子です。
7	ETHERNET	LAN（RJ-45）の端子です。
8	USB	マウスまたは USB メモリを接続します。
9	SATA	**使用できません。**
10	S1～S4	センサー入力端子です。
	D+、D-	RS-485 端子です。
	A、B	外部アラーム出力端子です。
11	POWER	電源（DC12V）入力端子です。
12	ファン	放熱用のファンです。

【 リモコン 】



No.	ボタン	用途
1	ID	リモコン ID が設定されている時、リモコン ID の認証を行います。
2	REC	手動録画を開始/中止します。
3	数字	1 画面に表示する CH を選択します。
4	—◀	再生画面で、再生中の映像の 1 分前にジャンプして再生します。 一時停止中は 1 フレーム前の画像を表示します。
5	▶—	ライブ画面で、PTZ 操作パネルを表示します。 再生画面で、再生中の映像の 1 分後にジャンプして再生します。 一時停止中は 1 フレーム後の画像を表示します。
6	◀◀	再生画面で、データを巻戻しします。押すごとに速度が切換ります。
7	▶/II	再生画面で、データを再生/一時停止します。
8	▶▶	再生画面で、データを早送りします。押すごとに速度が切換ります。
9	方向ボタン	メニューでカーソルを移動します。SEL ボタンで下位メニューを表示します。
10	SETUP	設定メニューを表示します。
11	SEARCH	検索メニューを表示します。
12	ESC	前画面に戻ります。
13	BACKUP	ライブや再生画面をバックアップします。
14	SEQ	画面自動切換え(シーケンス表示)を行います。

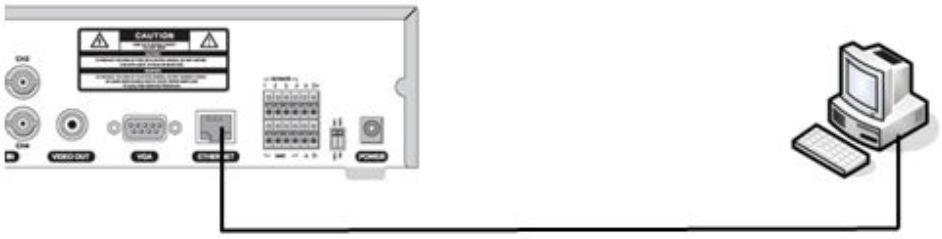
【 リモコン操作範囲 】



1．4　ネットワーク接続

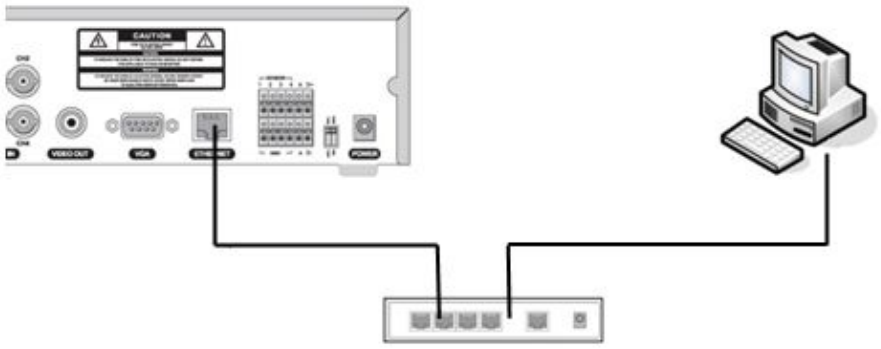
【　LAN 接続　】

クロスケーブルで本機と PC を直接接続します。



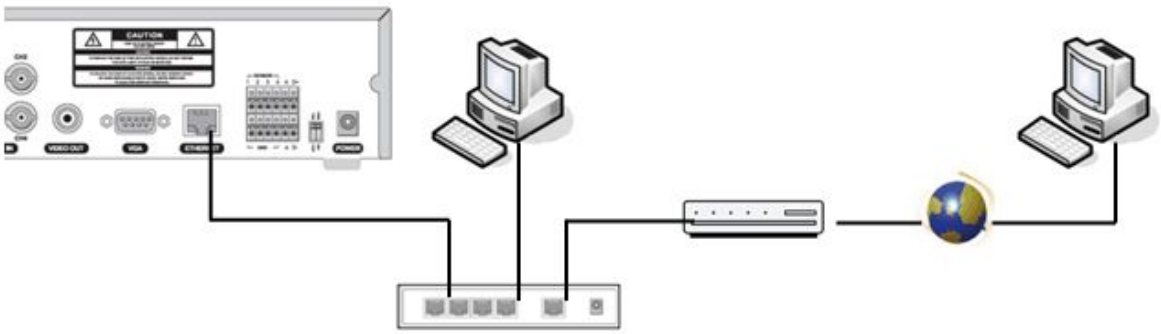
【　LAN 接続 － スイッチングハブを使用　】

ストレートケーブルで本機、PC それぞれをハブに接続します。

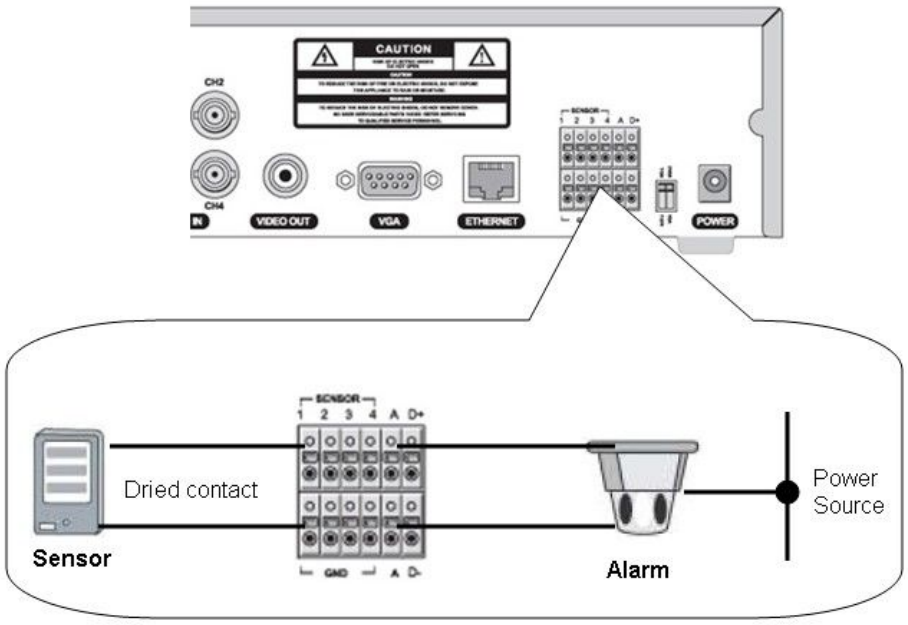


【　インターネット接続　】

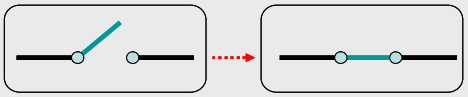
インターネット経由で、遠隔地の PC から本機にアクセスします。



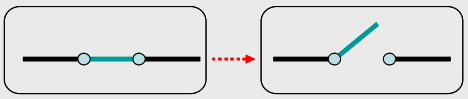
1．5　センサー･アラーム接続



N/O : Normally open type sensor.　通常はオープン状態で、クローズしたら反応します。



N/C : Normally closed type sensor.　通常はクローズ状態で、オープンしたら反応します。

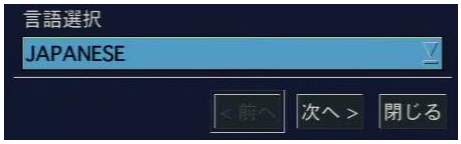


※　アラーム出力の使用可能仕様は最大電流 AC 0.5A 12.5V、最大電圧 DC 1A 30V です。

１．６ 本機の起動

1. DVRの後面の映像入力端子にカメラを接続し、電源入力端子に電源コードを接続します。

2. 通電すると前面パネルのPOWERランプが点灯し、システムの初期化が開始されます。
初期化が完了してDVRが起動すると、最初に言語選択の画面が表示されます。
「JAPANESE」 を選択し 「次へ >」 をクリックします。



3. 現在時刻を確認します。
現在時刻を変更したい場合は 「時刻設定」 のチェックボックスにチェックを入れて下さい。
現在時刻が 年/月/日/時/分/秒 で設定できるようになります。
「完了」 をクリックして、時刻設定を終了します。

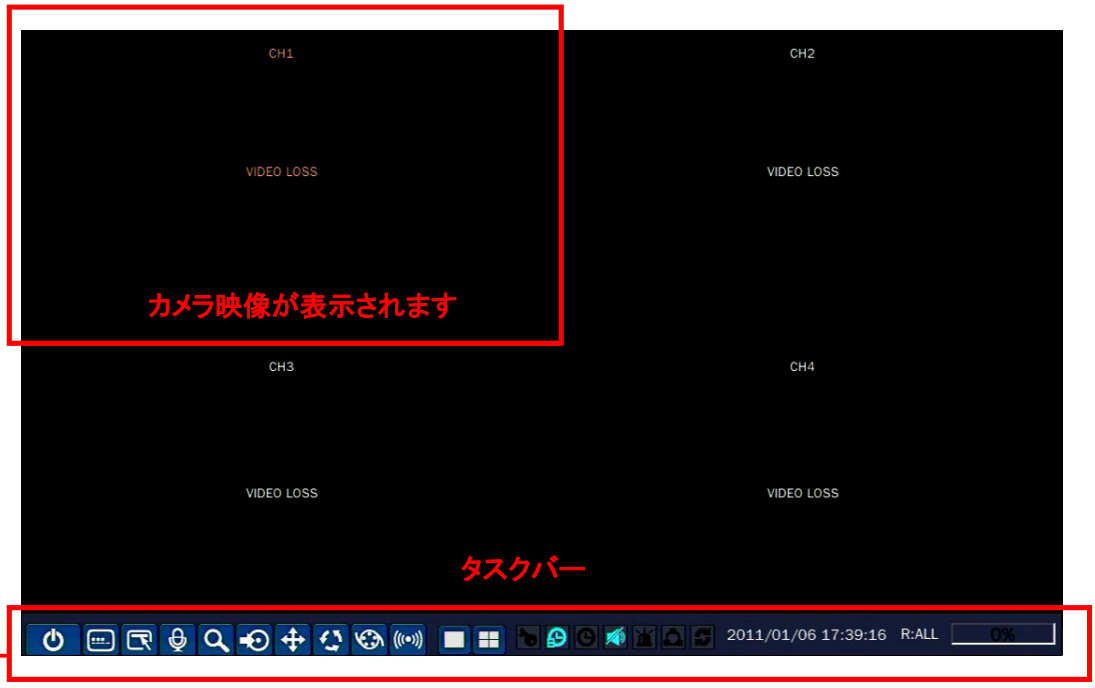
4. 接続されているカメラのライブ映像が分割画面で表示され、操作できる状態になります。

2章　ライブ監視

本機を起動すると、ライブ画面（現在のカメラ映像を閲覧する画面）が表示されます。
設定や検索等の項目は、ライブ画面から選択して操作します。

2．1　ライブ画面について

本機が起動すると最初に表示される基本モードです。
接続されているカメラのライブ映像が見られます。
画面の下端のタスクバー操作に必要なアイコンや、動作状態などが表示されます。



タスクバーの操作はすべてマウスで行います。
同梱のマウスを本体前面または背面の USB 端子に接続して下さい。
※　マウスカーソルを画面の最下部に移動させると、タスクバーが出現します。

【　分割画面表示　／　1画面表示　】
それぞれの CH の上にマウスカーソルを置いてダブルクリックすると、その CH が拡大されて 1 画面表示になります。
再度ダブルクリックすると、分割画面表示に戻ります。

タスクバーの表示アイコン

アイコン	説明
	システムを終了します。
	使用者の操作をロックします。 クリックして管理者のパスワードを入力すると、マウスやリモコン、前面パネルのボタンによる操作ができなくなります。 ロックの解除も同じ手順で行います。
	設定メニューに入ります。 ※ 詳細は 3章 各種設定 を参照して下さい。
	音声出力のチャンネルを選択します。 クリックするごとに CH1 音声出力 → CH2 音声出力 → CH3 音声出力 → CH4 音声出力 → 消音 → CH1 音声出力 → …の順番で切換わります。
	検索メニューに入ります。 ※ 詳細は 4章 検索と再生 を参照して下さい。
	ライブ画像の静止画を USB メモリにバックアップします。 ※ 詳細は 5章 バックアップ を参照して下さい。
	PTZ カメラコントロールメニューに入ります。 ※ 詳細は 6章 PTZカメラの操作 を参照して下さい。
	画面自動切換え(シーケンス表示)を 開始/停止 します。 分割画面表示時には動作しません。
	手動録画を 開始/停止 します。 手動録画中は 3．2 録画 で設定した録画条件は無視されます。
	アラーム出力機能の有効/無効を切替えます。 **無効(OFF)の際は、アラーム出力条件を満たしてもアラーム出力をしません。**
	ライブ映像を 1 画面で表示します。 クリックするごとに表示するチャンネルが切換わります。
	ライブ映像を 4 分割画面で表示します。

タスクバーの表示アイコン

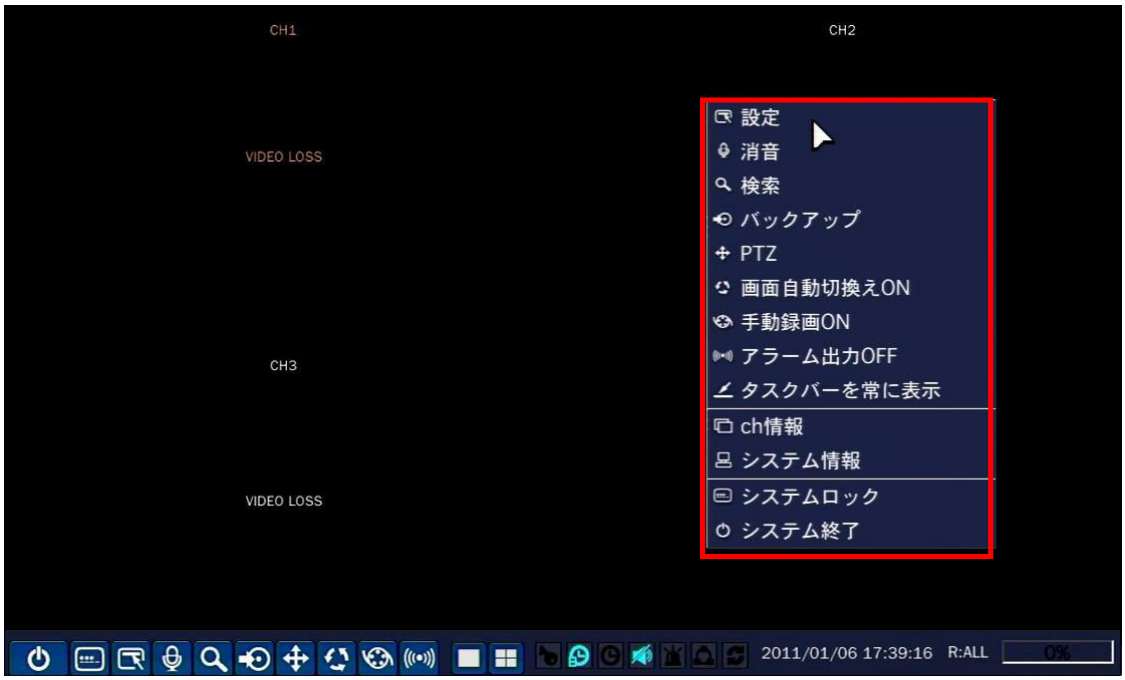
アイコン	説明
	使用者の操作がロック状態の時にハイライトになります。
	アラーム出力機能が ON の時にハイライトになります。 **アラーム出力機能が OFF の時には、アラーム出力条件を満たしてもアラーム出力をしません。**
	アラーム出力中にハイライトになります。
	音声出力状態を表示します。 各 CH の音声出力アイコンに切換ります。
	モーションまたは外部センサーの入力による録画中にハイライトになります。
	ネットワーククライアントが本機に接続している時にハイライトになります。
	画面自動切換えが動作している時にハイライトになります。
	現在の日時を表示します。 ※ 現在の日時は 3．5 システム で設定できます。
	現在操作中のリモコンの ID を表示します。 例）リモコンの ID が 35 に設定してあると、「R :35」と表示されます。 リモコン ID が設定されていない場合は「R :ALL」を表示します。 ※ リモコンIDは 3．3 デバイス で設定できます。
	HDD の使用容量を 0～99% で表示します。
	HDD が上書きを行っている時にハイライトになります。 ※ 上書きは 3．4 録画装置 で設定できます。

映像表示部の表示アイコン

アイコン	説明
チャンネル名	各チャンネル映像の上部の中央に表示されます。 チャンネル名は 3．1 画面表示 で設定できます。
VIDEO LOSS	映像入力端子に入力信号がないチャンネルの中央に表示します。
	常時録画中 のチャンネル映像の右上に表示されます。
	モーション録画中 のチャンネル映像の右上に表示されます。
	センサー録画中 のチャンネル映像の右上に表示されます。
	手動録画中 のチャンネル映像右上に表示されます。
	アラーム発生中 のチャンネル映像右上に表示されます。

2．2　ポップアップメニュー

ライブ画面の上にカーソルを位置させ、マウスを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。



ポップアップメニューの項目

項目	説明
設定	設定メニューに入ります。 ※ 設定メニューの説明は 3章 各種設定 を参照して下さい。
音声	音声出力のチャンネルを選択します。 クリックするごとに CH1 音声出力 → CH2 音声出力 → CH3 音声出力 → CH4 音声出力 → 消音 → CH1 音声出力 → …の順番で切換わります。
検索	検索メニューに入ります。 ※ 検索メニューの説明は 4章 検索と再生 を参照して下さい。
バックアップ	ライブ画像の静止画を USB メモリにバックアップします。
PTZ	PTZ カメラコントロールメニューに入ります。 ※ 詳細は 6章 PTZカメラの操作 を参照して下さい。
画面自動切換え	画面自動切換え(シーケンス表示)を 開始/停止 します。 分割画面表示時には動作しません。
手動録画	手動録画を 開始/停止 します。 手動録画中は 3．2 録画 で設定した録画条件は無視されます。
アラーム出力	アラーム出力機能の有効/無効を切替えます。 **無効(OFF)の際は、アラーム出力条件を満たしてもアラーム出力をしません。**
タスクバー 常に表示/自動隠し	タスクバーを常に表示するか、自動的に隠すかを切換えます。 **自動的に隠す状態の場合、画面の一番下にマウスのカーソルを移動させるとタスクバーが出現します。**
ch 情報	選択チャンネルの録画設定情報を表示します。 ※ 録画設定については 3．2 録画設定 を参照して下さい。
システム情報	システムの情報を表示します。
システムロック	使用者の操作をロックします。 クリックして管理者のパスワードを入力すると、マウス、リモコン、前面パネルのボタンによる操作ができなくなります。 ロックの解除も同じ手順で行います。
システム終了	システムを終了します。

3章　各種設定

本機をお使いいただく上でのさまざまな設定を行います。

3．0　設定メニューの概要

【　設定画面の開き方　】

1. 以下のいずれかの方法で設定画面を開きます。

- 前面パネルかリモコンの「SETUP」を押します。
- メイン画面の下部のタスクバーから のアイコンをクリックします。
- メイン画面で右クリックし、表示されるポップアップメニューから「設定」をクリックします。

2. ログイン画面が表示されると、ユーザータイプを選択します。
設定メニューに入る時にログインが必要かいなかについては、設定メニューの「セキュリティー」メニューで変更できます。

3. をクリックすると文字表が表示されます。
選択したユーザータイプに合うパスワードを入力して下さい。
各ユーザーのパスワードは、設定メニューの 「セキュリティー」 メニューで設定できます。
パスワードを入力し 「OK」 をクリックすると、設定画面が表示されます。

※　**工場出荷時のパスワードの初期値は「1111」です。**
システムの安全のため、購入後、パスワードを変更することをお勧めします。

【 設定メニューを操作するには 】

マウスの操作

左クリック	カーソルが位置している項目を選択します。
右クリック	(一部のメニューで)前画面に戻ります。

前面パネルのボタンまたはリモコンの操作

▼ボタンを押す	1 つ次の設定項目に移動します。
▲ボタンを押す	1 つ前の設定項目に移動します。
◂▸ボタンを押す	設定項目の設定値や選択肢を変更します。
「SEL」ボタンを押す	ボタンを選択します。
「ESC」ボタンを押す	前画面に戻ります。

項目の設定

	「SEL」 を押すかクリックで選択すると、ドロップダウンで選択肢が表示されます。
	コントロールボタン(◂▸)やマウスのドラック&ドロップで、設定値が変更できます。
	選択すると、文字入力表やサブメニューの画面が表示されます。

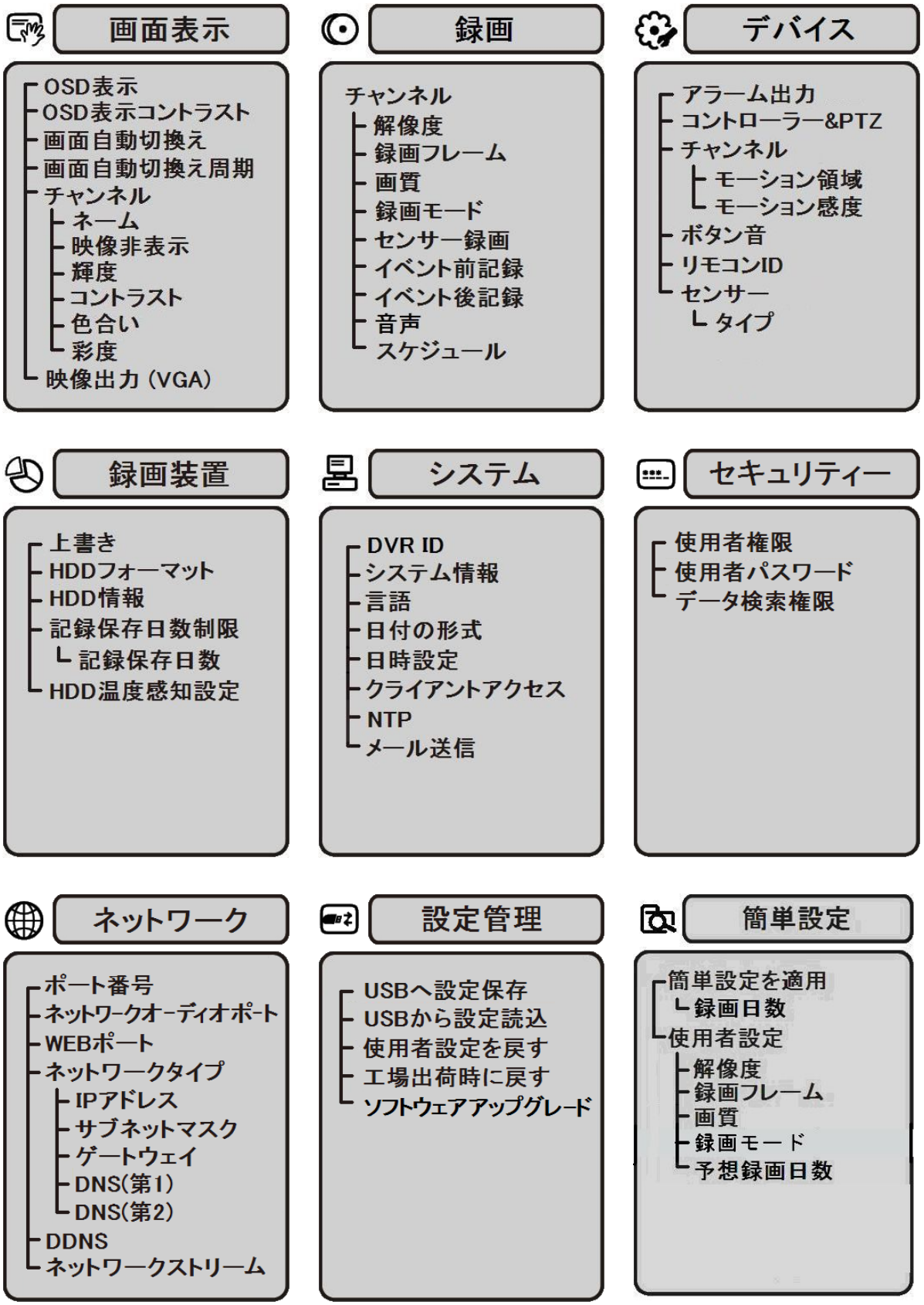
設定を保存するには

設定が完了し、設定メニュー画面を閉じるために「OK」を選択すると右のような設定保存の画面が表示されます。

- 「はい」 を選択すると変更した設定内容が保存されます。
- 「いいえ」 を選択すると変更した設定内容が無効化されます。

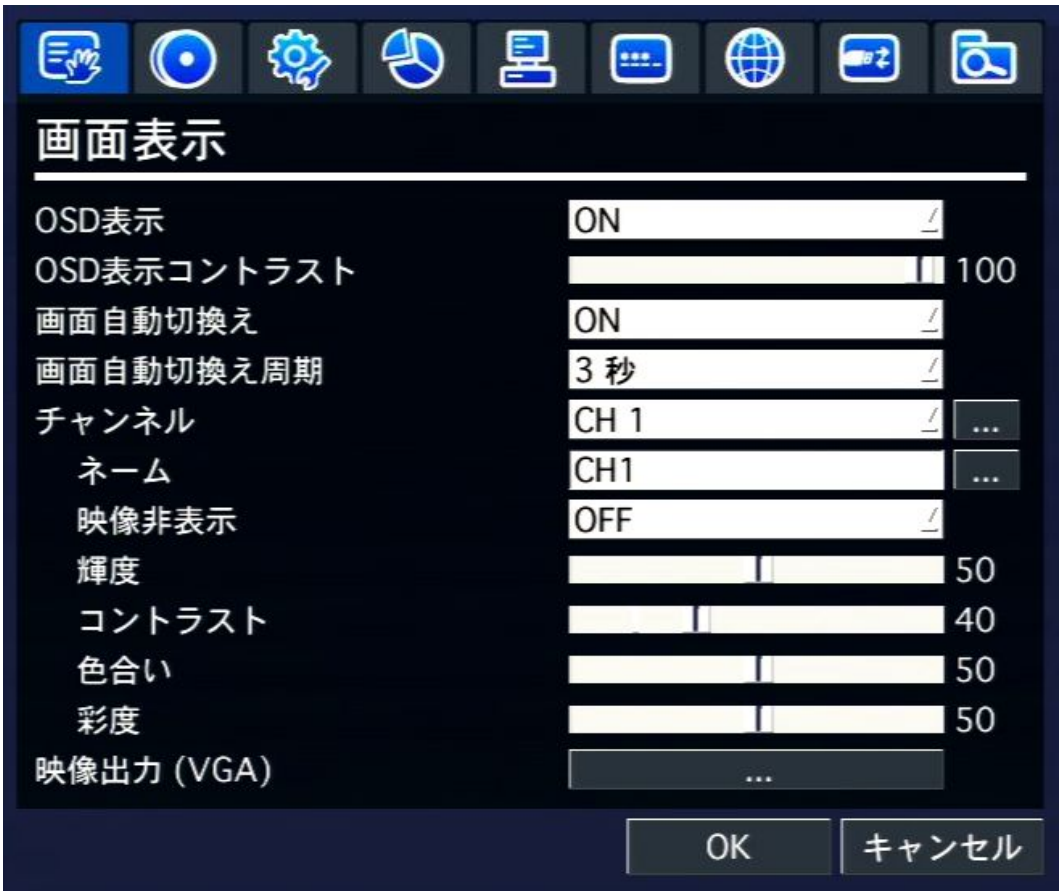
設定完了後、設定メニュー画面の右下の 「キャンセル」 を選択すると変更した設定内容が無効化されます。
設定を有効にするには必ず設定保存の画面で 「はい」 を選択し設定を保存して下さい。

【　設定メニューの構成　】


画面表示
OSD表示
OSD表示コントラスト
画面自動切換え
画面自動切換え周期
チャンネル
ネーム
映像非表示
輝度
コントラスト
色合い
彩度
映像出力（VGA）
録画
チャンネル
解像度
録画フレーム
画質
録画モード
センサー録画
イベント前記録
イベント後記録
音声
スケジュール
デバイス
アラーム出力
コントローラー&PTZ
チャンネル
モーション領域
モーション感度
ボタン音
リモコンID
センサー
タイプ
録画装置
上書き
HDDフォーマット
HDD情報
記録保存日数制限
記録保存日数
HDD温度感知設定
システム
DVR ID
システム情報
言語
日付の形式
日時設定
クライアントアクセス
NTP
メール送信
セキュリティー
使用者権限
使用者パスワード
データ検索権限
ネットワーク
ポート番号
ネットワークオーディオポート
WEBポート
ネットワークタイプ
IPアドレス
サブネットマスク
ゲートウェイ
DNS(第1)
DNS(第2)
DDNS
ネットワークストリーム
設定管理
USBへ設定保存
USBから設定読込
使用者設定を戻す
工場出荷時に戻す
ソフトウェアアップグレード
簡単設定
簡単設定を適用
録画日数
使用者設定
解像度
録画フレーム
画質
録画モード
予想録画日数

３．１　画面表示

ライブ画面の表示に関する設定を行います。



画面表示メニューの項目

項目	説明
OSD 表示	画面情報を表示するかどうかを設定します。(選択肢 ： ON/OFF) 「OFF」を選択すると、チャンネル名や録画マークなどの画面情報が表示されません。
OSD 表示コントラスト	画面に表示されるウィンドウや文字のコントラストを調整します。 (設定範囲 ： 50～100%)
画面自動切換え	画面自動切換え(シーケンス表示)を行うかどうかを設定します。 (選択肢 ： ON / OFF)
画面自動切換え周期	画面自動切換え(シーケンス)の切換え時間を設定します。 (設定範囲 ： 3～60 秒)
チャンネル	表示設定を変更したいチャンネルを選択します。(選択肢 ： CH 1 ～ CH 4) [...] を選択すると全 CH 設定画面が表示され、すべてのチャンネルと設定項目を一覧で見ることができます。 コントロールボタン(▲▼◀▶)で変更したい項目に移動し「SEL」を押すか、マウスでダブルクリックすると、項目の設定ができます。 コントロールボタン(◀▶)で設定値を変更し、「SEL」か「ESC」を押すと設定値が保存されます。 「ALL」の設定値を変更すると、全チャンネルの設定を一度に変更できます。
ネーム	チャンネル名を設定します。 [...] を選択すると文字入力表が表示され、変更したいチャンネル名を入力できます。
映像非表示	ON にすると、その CH のカメラ映像を表示しません。(選択肢 ： ON / OFF)
輝度	映像の明るさを調節します。(設定範囲 ： 0 ～ 100)
コントラスト	画面のコントラストを調節します。(設定範囲 ： 0 ～ 100)
色合い	画面の色合いを調節します。(設定範囲 ： 0 ～ 100)
彩度	画面の彩度を調節します。(設定範囲 ： 0 ～ 100)

映像出力(VGA)	を選択すると表示される出力設定画面で、VGA 端子から出力されるメイン画面の解像度を設定します。(選択肢 ： 1024x768/1280x1024) 「1280x1024」 に設定した場合、CVBS 端子をスポット出力端子として使用することができます。 ※　詳細は本節の**【 映像出力設定 】**を参照して下さい。 ※　**CVBS端子をメイン画面とする場合は、設定を変更しないで下さい。**

【 映像出力設定 】

製品背面の VGA 端子と CVBS 端子の出力仕様が設定できます。

映像出力メニューの項目

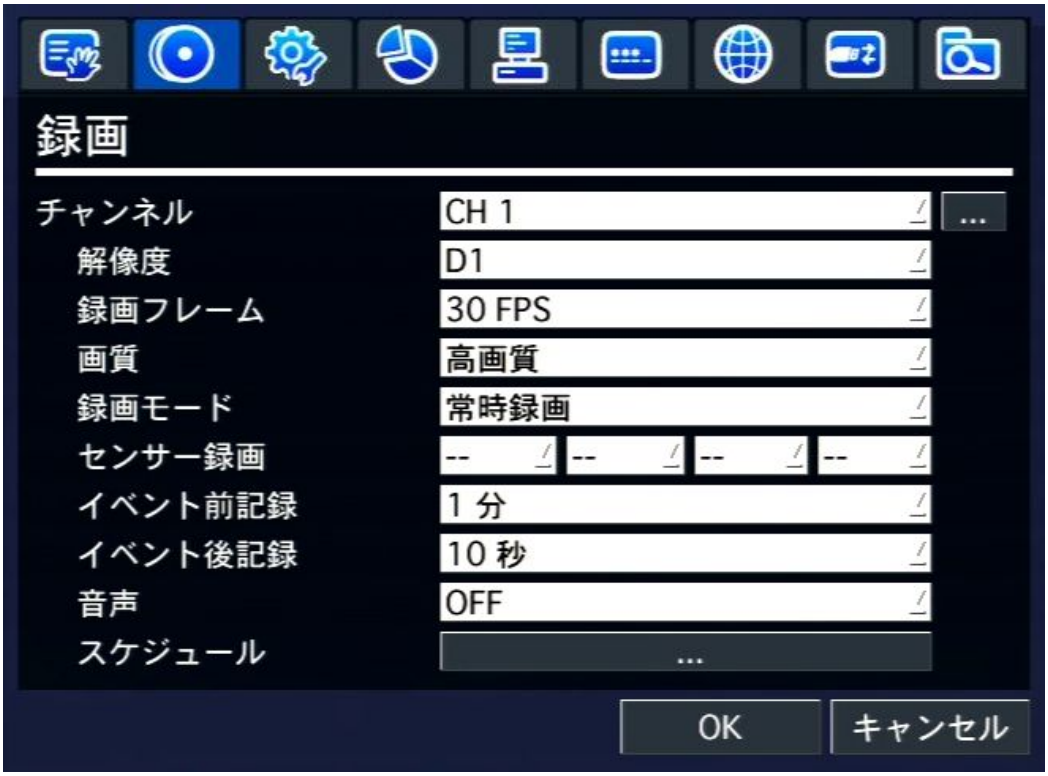
項目	説明
VGA 解像度	VGA 端子から出力されるメイン画面の解像度を設定します。 (選択肢 ： 1024x768/1280x1024)
CVBS 出力	VGA 解像度が 1024x768 の場合、CVBS 端子からメイン画面が同時出力できます。 メイン画面 ： 通常のライブ画面が表示され、再生や設定等ができます。
スポット出力	VGA 解像度が 1280x1024 の場合、CVBS 端子からスポット画面が出力されます。 スポット画面 ： カメラのライブ映像を、1CH ごとに自動的に切換えて表示します(シーケンス表示)。**ライブ画面のメニューが表示されず、再生や設定等はできません。**

※ スポット出力を行う場合は 「VGA解像度」 を 「1280×1024」 に設定して下さい。
その後、「スポットモニター設定」 を行って下さい。(3－3　デバイス　参照)

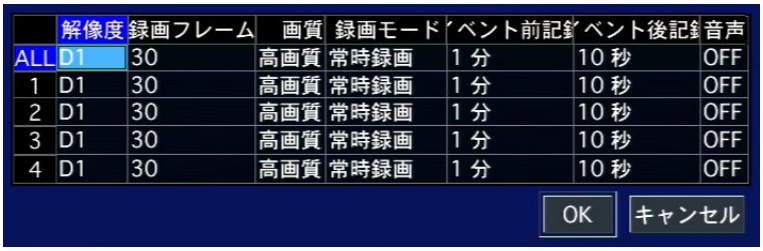
※ CVBS 端子をメイン画面とする場合は、「VGA 解像度」 を必ず、初期設定の 「1024×768」 のままでご使用下さい。
設定を変更されますと、メイン画面が表示されなくなりますのでご注意下さい。

３．２　録画

録画に関する設定を行います。



録画設定メニューの項目

項目	説明
チャンネル	下位項目(解像度、録画フレーム、画質、録画モード、センサー録画、イベント前記録、イベント後記録、音声、スケジュール)を設定するチャンネルを指定します。 [...] を選択すると全チャンネル設定画面が表示され、すべてのチャンネルと設定項目を一覧で見ることができます。  コントロールボタン（▲▼◀▶）で変更したい項目に移動し「SEL」を押すか、マウスでダブルクリックすると、項目の設定ができます。 コントロールボタン（◀▶）で設定値を変更し「SEL」または「ESC」を押すと設定値が保存されます。 「ALL」を選択すると、全チャンネルの設定値が一度に変更できます。
解像度	録画の解像度を設定します。(選択肢 ： D1/Half D1/CIF) D1 ： 704×480 ／ Half D1 ： 704×240 ／ CIF ： 352×240
録画フレーム	録画のフレームレート(1 秒間に何枚の画像を撮影するか)を設定します。 1 ～ 30 の範囲で設定して下さい。
画質	録画画質を選択します。 (選択肢 ： ネットワーク画質/標準画質/中画質/高画質/最高画質)
録画モード	録画モードを選択します。(選択肢 ： 常時録画/モーション録画/センサー録画/スケジュール録画/録画しない) ※ 詳細は本節の【 **録画モードの種類** 】を参照して下さい。
センサー録画	センサー録画時に、どのセンサー入力によって録画を行うかを設定します。 入力1(S1 端子)～入力 4(S4 端子)の最大 4 つを選択して下さい。 (選択肢 ： 1/2/3/4 ×4)
イベント前記録	イベント発生時(モーション検知やセンサー入力検知時)、その時刻より何分前から映像を記録するかを設定します。 (選択肢 ： OFF/15 秒/30 秒/1 分/3 分/20 分)

イベント後記録	イベント発生時（モーション検知やセンサー入力検知時）、その時刻から何秒間の映像を記録するかを設定します。 （設定範囲 ： 10～30 秒/60 秒）
音声	ライブ映像の音声を記録するかを設定します。（選択肢 ： ON/OFF）
スケジュール	1 週間単位のスケジュール設定によって、指定された曜日や時刻に録画モードが自動的に変更されます。 を選択するとスケジュール画面が表示され、1 週間の録画スケジュールが設定できます。 ※ 詳細は本節の【 **スケジュール設定** 】を参照して下さい。

【 録画モードの種類 】

録画する条件を 6 つの録画モードから選択できます。

常時録画

本機の電源がONになっている間は常時録画を行います。

モーション録画

本機内蔵のモーションセンサーが反応すると録画を行います。

センサー録画

本機の外部センサー入力端子に接続されたセンサー機器などが反応すると録画を行います。
センサー入力端子の位置については １．３ 外観 を参照して下さい。

スケジュール録画

録画設定メニューの「スケジュール」で設定されたスケジュール通りに録画を行います。

録画しない

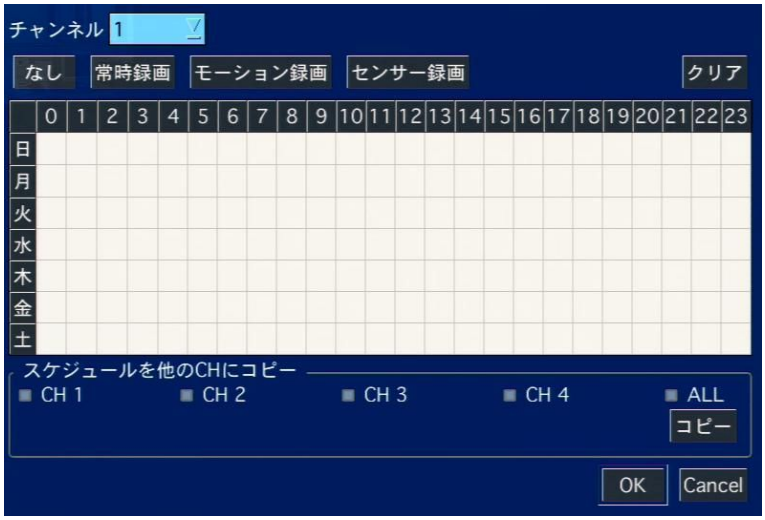
録画を行いません。

手動録画

本体前面パネルかリモコンの「REC」を押すか、マウスでタスクバーやポップアップメニューから「手動録画」をクリックすると、各チャンネルの録画モードを無視し、リアルタイムで録画を開始します。
手動録画モードを解除する時は「REC」をもう一度押し、パスワードを入力して解除できます。
※手動録画の設定（各チャンネルの解像度・録画フレーム・画質など）は録画設定メニューの項目の設定と同じになります。

【 スケジュール設定 】

1. 録画設定メニューで「スケジュール」の [...] を選択するとスケジュール設定画面が表示されます。



2. 「チャンネル」 でスケジュールを設定したいチャンネルを指定します。(選択肢 ： 1～4)

3. 下の項目から録画モードを選択します。

4. スケジュール表のマス目を選択すると、選択中の録画モードが設定されます。
マウス使用時は設定したい範囲をドラッグ＆ドロップすることで範囲設定ができます。
録画モードによってマス目が下の表の色で表示されます。

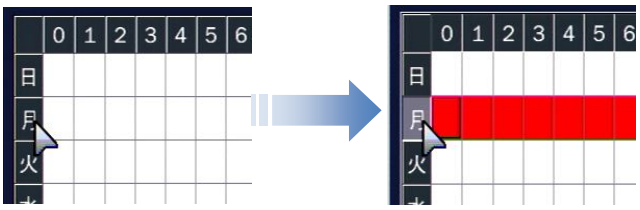
色	録画モード
緑	常時録画
赤	センサー録画
黄色	モーション録画
白(無色)	録画しない

※　マウス使用時は、以下のように一括設定ができます。

・ 1日中同じ設定にしたい場合は、縦軸の曜日をクリックします。

例）

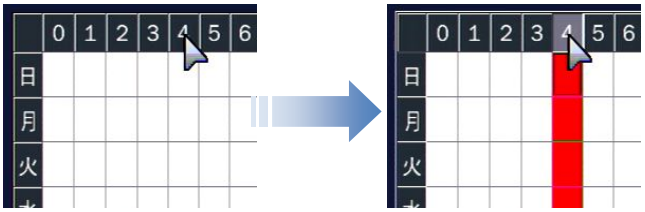
「月」をクリックすると月曜日のすべての時間帯を、選択した録画モードに設定します。



・ 毎日の一定の時間帯を同じ設定にしたい場合は、横軸の数字をクリックします。

例）

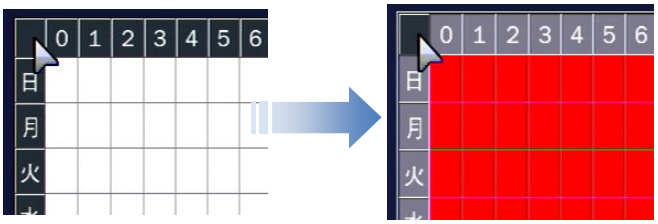
「4」をクリックすると、毎日の 04:00～05:00 の間の時間が選択した録画モードに設定されます。



・ 毎日すべての時間帯を同じ設定にしたい場合は、縦軸と横軸が接する部分のマス目をクリックします。

例）

左上の をクリックすると、毎日のすべての時間帯が選択した録画モードに設定されます。



・

をクリックするとスケジュール表の録画モード設定がすべて消去され、初期化されます。

※　他のチャンネルも同じ設定にする場合

「スケジュールを他のCHにコピー」の項目で、スケジュールを上書きしたいチャンネルのチェックボックスにチェックを入れ

を選択すると、スケジュール表の設定が選択チャンネルに適用されます。

5. 「OK」をクリックすると、設定したスケジュールを保存します。
スケジュール設定を行うには、「録画モード」を「スケジュール」に設定して下さい。

３．３　デバイス

センサーや PTZ カメラなどの外部装置に関する設定を行います。

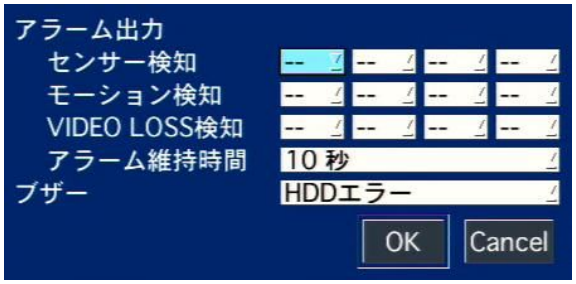
デバイスメニューの項目

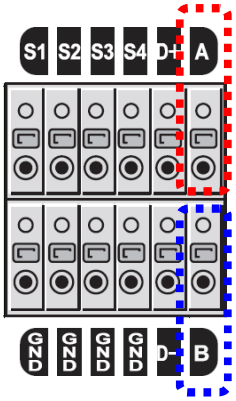
項目	説明
アラーム出力	を選択すると表示されるアラーム出力画面でセンサー入力、モーション検知、VIDEO LOSS によるアラーム出力を設定します。 詳細は本節の【 **アラーム出力設定** 】を参照して下さい。
コントローラー&PTZ	を選択すると表示されるコントローラー&PTZ 画面で、コントローラーや PTZ カメラの接続設定を行います。 詳細は本節の【 **コントローラー&PTZ 設定** 】を参照して下さい。
スポットモニター設定	※ VGA 解像度が「1280×1024」に設定されているときに表示されます。 （3．1 画面表示 参照） を選択すると表示されるスポットモニター設定画面で、スポット出力の動作設定を行います。 詳細は本節の【 **スポットモニター設定** 】を参照して下さい。
チャンネル	モーション領域を設定するチャンネルを指定します。 (選択肢 ： CH1～CH4)
モーション領域	モーション検出の領域を指定します。(選択肢 ： 全領域/検出枠) 検出枠を選び を選択すると表示される検出枠設定画面でモーションを検出する領域を設定します。 詳細は本節の 【 **モーション検出領域設定** 】 を参照して下さい。
モーション感度	モーション検出の感度を選択します。(選択肢 ： 1～9) 数字が高くなるほど敏感になります。
ボタン音	本機のパネルのボタンまたはリモコンのボタンを押したときの操作音を鳴らすかどうかを設定します。(選択肢 ： ON/OFF)
リモコン ID	リモコンの ID を設定します。(選択肢 ： 0～99) 詳細は本節の 【 **リモコン ID の操作** 】 を参照して下さい。
センサー	センサータイプを設定するセンサー番号を指定します。(選択肢 ： 1～4) 数字はそれぞれ入力1（S1 端子）～入力 4（S4 端子）に対応しています。
タイプ	指定した番号のセンサータイプを選択します。 (選択肢 ： OFF / NORMAL OPEN / NORMAL CLOSE) NORMAL OPEN ： 通常はオープン状態で、クローズしたら検知する NORMAL CLOSE ： 通常はクローズ状態で、オープンしたら検知する OFF ： 検知しない

【 アラーム出力設定 】

アラーム出力の条件を設定します。

出力機器は本体背面の外部アラーム接続端子に接続して下さい。





アラーム出力メニューの項目

項目	説明
センサー検知	本機のセンサー入力端子に入力があるとアラーム信号を出力します。 数字はそれぞれ入力1（S1 端子）～入力 4（S4 端子）に対応しています。 4 つの端子までを設定できます。
モーション検知	指定した映像入力端子にモーション検知の入力があるとアラーム信号を出力します。 4 つまでのチャンネルが設定できます。
VIDEO LOSS 検知	指定したチャンネルで VIDEO LOSS（断線などによりカメラ映像が入力できない状態）が発生するとアラーム信号を出力します。 4 つまでのチャンネルが設定できます。
アラーム持続時間	アラーム信号を何秒間出力するかを設定します。（選択肢 ： 5～60 秒）
ブザー	本機内蔵のブザーを鳴らす条件を設定します。 （選択肢 ： OFF/ALL/HDD エラー/VIDEO LOSS） HDD エラー ： 内蔵の HDD に異常があった際にブザーを鳴らします。 VIDEO LOSS ： カメラの VIDEO LOSS を検出した際にブザーを鳴らします。 ALL ： HDD エラーまたは VIDEO LOSS があった際にブザーを鳴らします。

※ **設定後に、必ずライブ画面でアラーム出力が ON になっているかご確認下さい。**

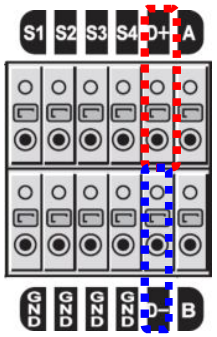
タスクバーのアラーム出力アイコン　がハイライトになっていないと、アラーム信号が出力されません。（ 2. 1 ライブ画面について を参照して下さい。）

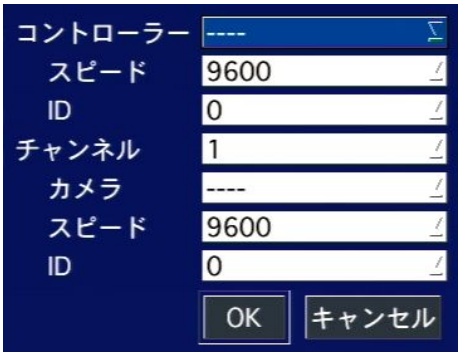
【 コントローラー&PTZ 設定 】

コントローラーや PTZ 制御を行うための設定をします。

コントローラーや PTZ カメラは RS-485 ケーブルで本機背面の RS-485 ポートに接続します。

メモ ： RS-485 対応のスピードドームカメラを RS-485 端子に接続してください。もしカメラが RS-232C からコントロールされている場合は、RS-485→RS-232C シグナルコンバーターをご使用ください。





コントローラー&PTZ メニューの設定

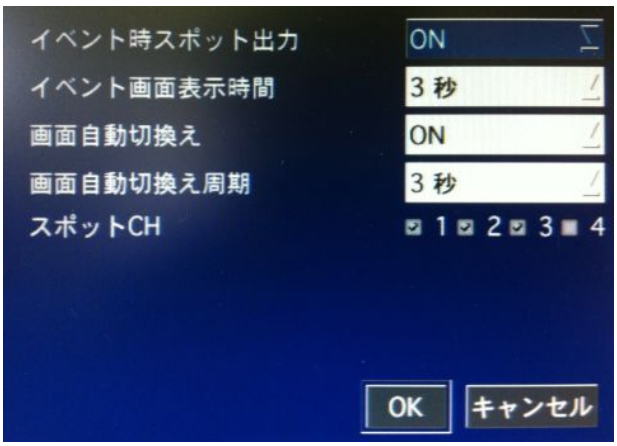
項目	説明
コントローラー	接続しているコントローラーのタイプを選択します。
スピード	コントローラーとの通信速度を設定します。 (選択肢 ： 2400/4800/9600/14400/19200)
ID	接続しているコントローラーの ID を設定します。(選択肢 ： 0～63)
チャンネル	下位項目(ネーム、スピード、ID)を設定するチャンネルを指定します。
カメラ	接続している PTZ カメラのプロトコルタイプを選択します。
スピード	PTZ カメラとの通信速度(ボーレート)を設定します。 必ず PTZ カメラに設定した値と同じ設定値にして下さい。 (選択肢 ： 2400/4800/9600/14400/19200)
ID	接続している PTZ カメラの ID を設定します。 必ず PTZ カメラに設定した ID と同じ ID に設定して下さい。 (選択肢 ： 0～63)

※　詳しい操作方法はご使用のコントローラーやPTZカメラの取扱説明書を参照して下さい。

【 スポットモニター設定 】

CVBS 端子をスポット出力端子として使用するための設定を行います。

※ この設定を行うには VGA 解像度を 「1280×1024」 に設定する必要があります。
（3．1　画面表示　参照）

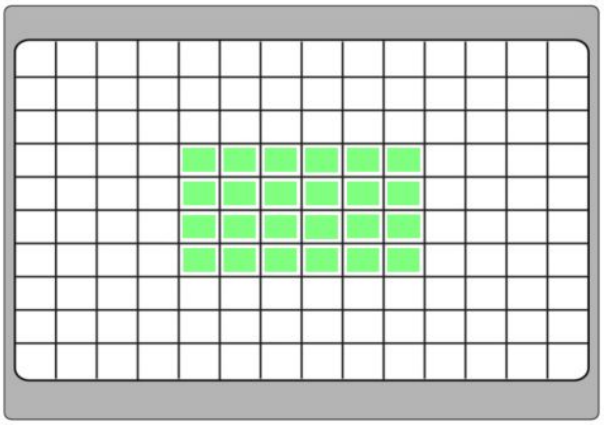


スポットモニターメニューの設定

項目	説明
イベント時スポット出力	「ON」 にすると、イベント（アラーム、モーション）発生時、その CH のライブ映像を指定した時間だけスポットモニターに表示します。
イベント画面表示時間	イベント時スポット出力の表示時間を指定します。
画面自動切換え	「ON」 にすると、スポットモニターに各 CH のライブ映像を順番に切換えながら表示します。（シーケンス表示）
画面自動切換え時間	画面自動切換えの切換えるまでの時間間隔を指定します。
スポット CH	画面自動切換えを有効にする CH にチェックを入れます。 チェックのない CH はスキップされ、スポットモニターに表示されません。

【　モーション検出領域設定　】

1. デバイス設定画面のモーション領域項目で「検出枠」を選び、[...] を選択するとモーション検出枠の設定画面が表示されます。



2. コントロールボタン（▲▼◀▶）でモーションを検知する箇所にカーソルを移動させ「SEL」を選択するか、マウスでクリックするとモーション検出領域に設定されます。
モーション検出領域に指定された枠は緑色に塗りつぶされます。

3. 繰り返し操作で、モーションを検知する範囲を選択して下さい。

4. 設定が終了したら「ESC」を押すか、マウスで右クリックしてデバイス設定メニューに戻ります。

【　リモコン ID の操作　】

本機が複数台ある場合、それぞれのリモコンを区別するために、本機とリモコンに ID の設定をします。

1. デバイス設定メニューの「リモコンID」でリモコンIDを設定します。0～99の数字で設定できます。
「0」に設定するとライブ画面の右下に R:ALL が表示され、どのリモコンでも本機を操作できます。

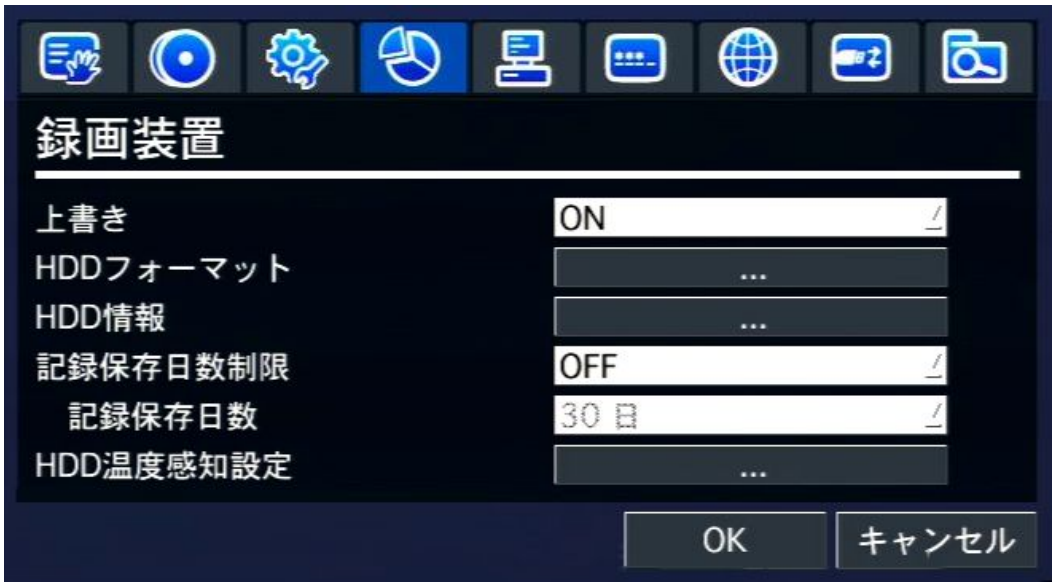
2. 「ESC」を繰り返し押してライブ画面に戻ります。リモコンIDを「0」以外の数字に設定した場合、ライブ画面の右下の R:ALL が消え、IDが設定されてないリモコンでは操作できなくなります。

3. リモコンの「ID」を押し、本機に設定したIDと同じ2桁の数字ボタンを押します。
リモコンにIDが設定されます。

4. 本機とリモコンに設定したIDが一致すると、本機が操作できるようになります。

３．４　録画装置

内蔵 HDD に関する設定を行います。



録画装置メニューの項目

項目	説明
上書き	HDD の容量がいっぱいになったとき、古い映像を削除し、そこに上書きして録画をつづけるための設定です。(選択肢 ： ON/OFF) ※ **上書きがONに設定されている場合、必要な映像はあらかじめ外部メモリなどにバックアップして下さい。** ※ **上書きがOFFに設定されている場合、HDDの容量がいっぱいになると録画を停止します。**
HDD フォーマット	内蔵の HDD を初期化します。 を選択すると、フォーマット画面が表示されます。 「はい」を選択するとフォーマットを行い、本機が再起動します。 ※ すべての記録が失われます。フォーマットをおこなう前に、必要な映像はあらかじめ外部メモリなどにバックアップして下さい。
HDD 情報	を選択すると、搭載されている HDD の総容量と残容量、HDD の録画開始時刻と最終録画時刻、温度や通電時間などが確認できます。
記録保存日数制限	録画記録を保存する期間を制限します。(選択肢 ： ON/OFF) HDD には設定した日数だけのデータを残し、それ以前のデータは古い順番で削除されます。
記録保存日数	「記録保存日数制限」が ON の場合、録画記録を保存する日数を設定します。(設定範囲 ： 1～90 日)
HDD 温度感知設定	を選択すると、表示される HDD 温度感知画面から、HDD の温度が一定以上になった時、アラームや警告音を出力するように設定できます。 ※ 詳細は【 **HDD温度感知設定** 】を参照して下さい。

【 HDD 温度感知設定 】

HDD の温度が異常値になった時、アラームを出力させることができます。

HDD 温度感知メニューの設定

項目	説明
温度上限	使用中の HDD の温度の上限値を設定します。 (設定範囲 ： 40～80℃) ※　現在使用中のHDDの温度は「HDD情報」から確認できます。
アラーム	「ON」にすると、HDD の温度が設定した上限を上回った場合にアラーム出力をします。(選択肢 ： ON/OFF)
ブザー	「ON」にすると、HDD の温度が設定した上限を上回った場合にブザーを鳴らします。(選択肢 ： ON/OFF)
持続時間	アラーム出力およびブザーを何秒間出力するかを設定します。 (設定範囲 ： 10～60 秒/UNLIMITED)

３．５ システム

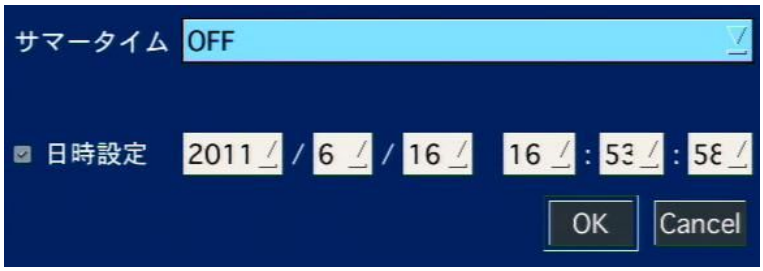
本機のシステムを管理するための設定や、システム情報の確認ができます。

システムメニューの項目

項目	説明
DVR ID	本機の名称を設定します。 本機が複数台あるときなどに、区別するために設定します。 を選択し、文字表で本機の名称を入力します。
システム情報	を選択すると表示されるシステム情報画面からハードウェア・ソフトウェアのバージョン、HDD 容量、IP アドレス、MAC アドレス、DDNS ステータス、ポートフォワードステータスが確認できます。
言語	表示言語を指定します。
日付の形式	日付表示形式を選択します。 例） 2011年12月25日の場合、 YYYY-MM-DD ： 2011-12-25　　MM-DD-YYYY ： 12-25-2011 DD-MM-YYYY ： 25-12-2011　　YYYY/MM/DD ： 2011/12/25 MM/DD/YYYY ： 12/25/2011　　DD/MM/YYYY ： 25/12/2011
日時設定	本機の日付と時刻の設定を行います。 を選択すると日時設定画面が表示されます。 詳細は本節の **【　日時設定　】** を参照して下さい。
クライアントアクセス	ネットワークを通じて、外部の PC から本機へ接続することを許可するどうかを設定します。(選択肢 ： ON/OFF)
NTP	インターネットまたは LAN 上の NTP サーバーを使って時刻合わせを行うための設定です。(選択肢 ： ON/OFF) 「ON」に設定して を選択すると、NTP の設定ができます。 ※　詳細は **【　NTP設定　】** を参照して下さい。
メール送信	本機からメールを送信する機能です。(選択肢 ： ON/OFF) 「ON」 に設定して を選択すると、メール送信の設定ができます。 ※　詳細は **【　メール送信設定　】** を参照して下さい。

【　日時設定　】

本機の日付と時刻の設定を行います。



1. 「日時設定」のチェックボックスにチェックを入れると、システムの現在時刻が変更できるようになります。

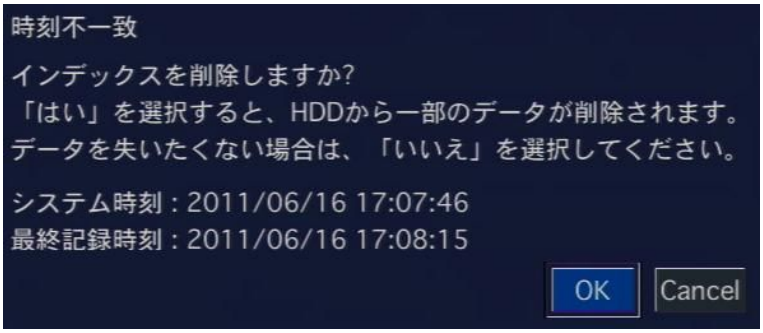
2. 年/月/日/時/分/秒 を設定し、「OK」を選択します。

3. 設定の保存画面で「はい」を選択すると本機が再起動し、変更した日時が反映されます。

※ 時刻不一致が発生した場合は・・・

日時設定メニューから日時を更新して再起動した時、新しい時刻が最終録画時刻より前の時刻であると、「時刻不一致」が発生します。
このとき、現在時刻と最終録画時刻の間にあるデータは消去することになります。

「時刻不一致」が発生したとき、下のようなメッセージが表示されます。



新しい日時をそのまま適用してデータを削除するか、日時設定を変更前の状態に戻すかを選択します。

「OK」 ・・・ 設定変更後の日時設定を反映し、それ以降のデータはHDDから消去します。

「Cancel」・・・ 日時設定を変更する前の日時に戻ります。

【 NTP 設定 】

ネットワーク上の NTP サーバーに接続し、本機の時刻を標準時刻に同期させることができます。

NTP メニューの設定

項目	説明
NTP サーバーアドレス 1	時刻を同期するために接続する NTP サーバーのアドレスを入力します。
NTP サーバーアドレス 2	NTP サーバーアドレス 1 が接続できなくなった場合に使用する、代替 NTP サーバーのアドレスを入力します。
時間帯	使用地域のグリニッジ標準時を選択します。 (設定範囲 ： GMT −12:00 ～ +13:00) 日本国内では「GMT +9:00」を選択して下さい。
接続モード	NTP 同期を数時間周期に行うか、毎日 1 回特定時刻に行うか、それとも一回のみ行うかを選択します。 (選択肢 ： 周期指定/時刻指定/一回) 「一回」 を選択した場合は、設定メニューを閉じた時点の 1 回のみ、NTP 同期を行います。
接続時点	同期する時間あるいは時刻を設定します。(設定範囲 ： 1～24) 例)「15」に設定すると、 ● 接続モードが「周期指定」の場合 ： 15時間ごとに時刻同期を行います。 ● 接続モードが「時刻指定」の場合 ： 毎日15時(午後3時)に時刻同期を行います。

【 メール送信設定 】

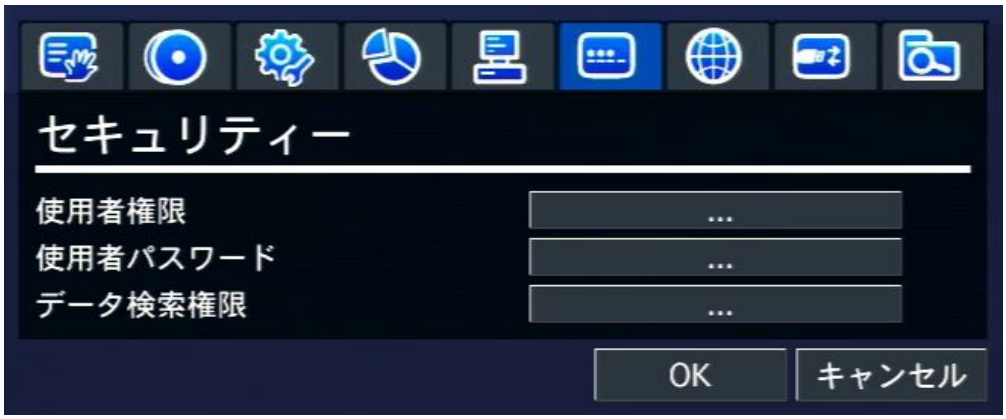
本機からメールを送信するための設定を行います。

メール送信メニューの設定

項目	説明
伝送モード	イベント発生時に送信するメールの形式を選択します。(選択肢:テキスト/動画) テキストを選択すると、イベントが発生した内容のみ、メールで送信します。 動画を選択すると、イベントが発生した動画が添付されたメールが送られます。
IP アドレス変更通知	本機の IP アドレスを変更すると通知メールを送信します。 (選択肢 ： ON/OFF)
イベント通知	イベントによるアラームが発生すると通知メールを送信します。 (選択肢 ： ON/OFF)
HDD 温度感知メール	HDD の温度が HDD 温度感知設定で設定した上限値以上に上がるとメールを送信します。(選択肢 ： ON/OFF)
DVR 状態通知メール	本機の HDD 情報、録画状況、スクリーンショットなどの情報をメールで送信します。(選択肢 ： ON/OFF) ... を選択し、表示される下位画面でメールを送信する周期を指定することができます。
メールポート	メール伝送時のポート番号を入力します。
セキュリティー設定	セキュリティーのため、暗号化された送信を対応するメールサーバーを使用する場合、プロトコルを選択します。(選択肢 ： なし/SSL/TLS)
メールアドレス	送信先のメールアドレスを入力します。
メールサーバー名	送信元のメールサーバーを入力します。
ID	メールサーバーが ID 認証を必要とする場合、その ID を入力します。
パスワード	メールサーバーが ID 認証を必要とする場合、そのパスワードを入力します。
送信元メールアドレス	送信元のメールアドレスを入力します。

３．６　セキュリティー

セキュリティーのためのパスワードやアクセス権限などが設定できます。



セキュリティーメニューの項目

項目	説明
使用者権限	... を選択すると使用者一覧画面が表示され、各使用者が操作できるメニューの範囲を設定できます。 ※　このメニューには「管理者」でログインしているときのみ入ることができます。 ※　詳細は本節の **【　使用者権限設定　】** を参照して下さい。
使用者パスワード	... を選択すると使用者パスワード画面が表示され、各使用者ごとにパスワードを設定できます。 ※　詳細は本節の **【　使用者パスワード設定　】** を参照して下さい。
データ検索権限	... を選択すると、データ検索権限画面が表示され、各使用者が検索できるチャンネルを設定できます。 ※　このメニューには、「管理者」 権限でログインした使用者のみ、入ることができます。 ※　詳細は本節の **【　データ検索権限設定　】** をご参照ください。

【　使用者権限設定　】

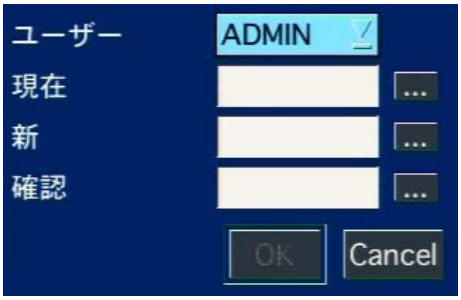
使用者ごとに各メニューにアクセスできる権限を設定します。

使用者権限メニューの設定

項目	説明
① パスワード	各使用者の現在のパスワードを表示します。 選択するとパスワード変更画面が表示されます。 ※　詳細は **【　使用者パスワード設定　】** を参照して下さい。
② パスワード確認	設定/検索/PTZ/手動録画終了/ネットワークアクセスを操作する時、使用者のパスワードを確認するかを設定します。 チェックをはずした項目は、操作時にパスワード入力が不要になります。
③ アクセス権限	設定/検索/PTZ/手動録画終了/ネットワークアクセスの操作について、各使用者のアクセス権限を設定します。 チェックをはずした項目は、そのユーザーでは操作できなくなります。 ※「管理者」のチェックは外すことができません。

【 使用者パスワード設定 】

各ユーザーのパスワードが変更できます。

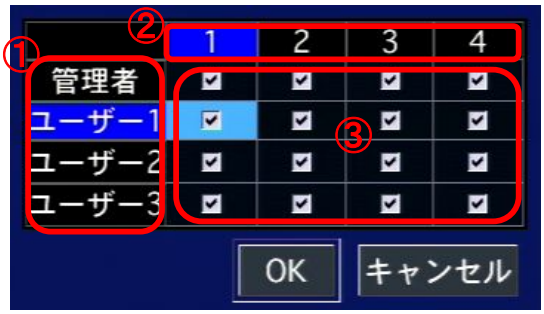


使用者パスワードの設定

項目	説明
ユーザー	パスワードを変更する使用者を選択します。 (選択肢 ： 管理者/ユーザー1/ユーザー2/ユーザー3)
現在	現在のパスワードを入力します。 ※　工場出荷時の設定ではすべて 1111 です。
新	設定変更後のパスワードを入力します。
確認	設定変更後のパスワードをもう一度入力します。

【 データ検索権限設定 】

各ユーザーが検索できるチャンネルが設定できます。

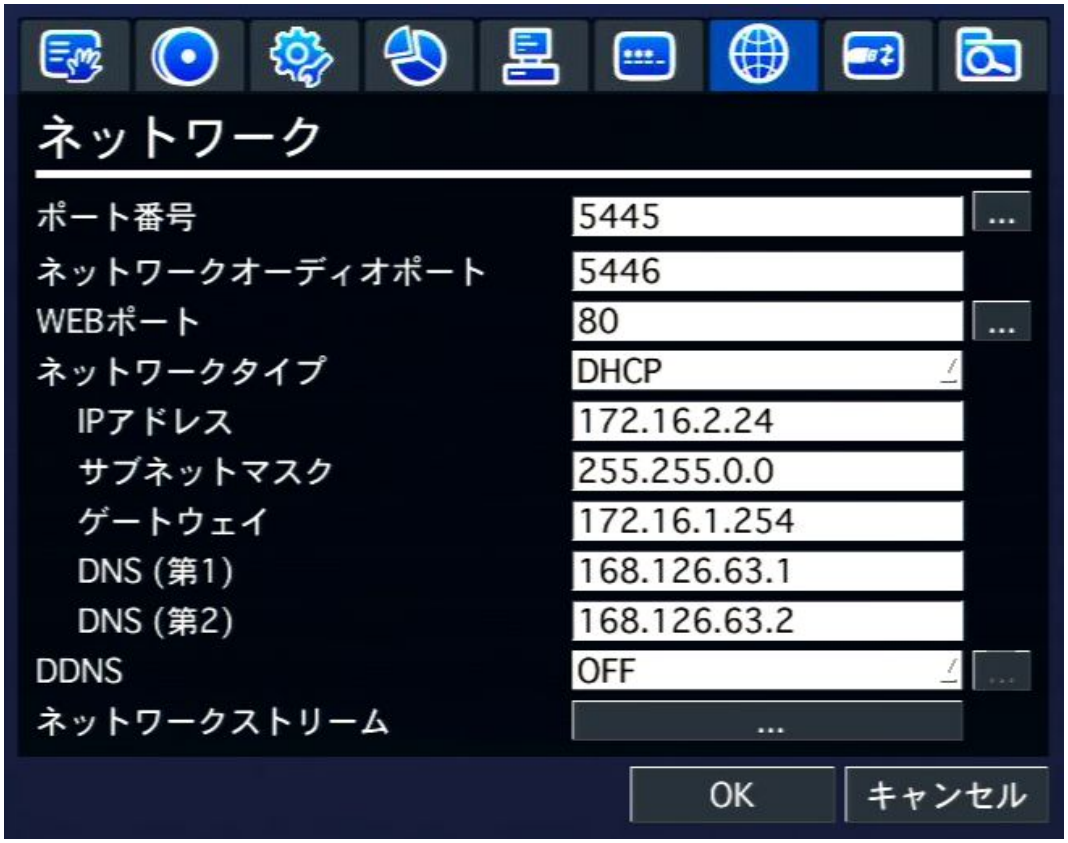


データ検索権限の設定

項目	説明
① ユーザー	検索権限が設定できるユーザーリストです。
② チャンネル	検索権限が設定できるチャンネルリストです。
③チェックボックス	各ユーザーは、チェックの入っているチャンネルの記録映像を見ることができます。 ※「管理者」のチェックは外すことができません。

３．７　ネットワーク

ネットワークで接続するための設定を行います。



ネットワークメニューの項目

項目	説明
ポート番号	ルータ使用時のネットワークポート設定を行います。
ネットワークオーディオポート	クライアントソフトなど、遠隔地から接続する時に音声を伝送するためのポート番号です。この項目は、ポート番号に指定した番号の+1 の数字が自動的に設定されます。
WEB ポート	WEB クライアントや遠隔設定画面を表示するための WEB ブラウザ接続時に使用するポート番号を入力します。
ネットワークタイプ	接続するネットワークタイプを選択します。(選択肢 ： 固定/DHCP) 固定 IP アドレスを使用する場合は 「固定」 を選択し、下位の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS の設定を直接行います。 ルータの DHCP 機能(動的 IP アドレスを自動的に割り当てる機能)を使用する場合は 「DHCP」 を選択します。この場合、下位の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS は自動的に割り当てられます。IP アドレスが変動するので、外部端末から本機にアクセスする際には注意が必要です。
IP アドレス	本機の IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	使用するネットワークのサブネットマスクを入力します。
ゲートウェイ	使用するネットワークのゲートウェイ(ルータの IP アドレス)を入力します。
DNS(第 1)	優先 DNS サーバーのアドレスを入力します。
DNS(第 2)	代替 DNS サーバーのアドレスを入力します。
DDNS	ネットワークを通じて DVR にアクセスする時、IP アドレスではなくドメイン名で接続したい場合は、DDNS サーバーに登録し、DDNS サービスを利用することができます。(選択肢 ： OFF/サーバー1/サーバー2) サーバー1 かサーバー2 を選択し、 を選択すると表示される DDNS サーバー設定画面で、使用する DDNS サーバーを設定します。 詳細は本節の **【 DDNS サーバーの設定 】** を参照して下さい。

※DDNS サービスのご利用について(免責事項)

DDNS サービスのご利用の際は下記の内容に同意したうえでご利用下さい。

・DDNS サービスのご利用はお客様の責任の下でご利用下さい。

・DDNS サービスを利用することにより発生した損害、または第三者に対して損害を与えた場合について弊社は一切の責任を負わないものとし、損害賠償する義務はないものとします。

ネットワークストリーム　ネットワークを通じて外部の PC へ伝送するデータのフレームレートや画質をチャンネルごとに設定します。

を選択するとネットワークストリーム設定画面が表示されます。

【 DDNS サーバーの設定 】

DDNS サーバーに登録したドメイン名で外部 PC からアクセスすることができます。

・「bestddns.com」 を利用する場合

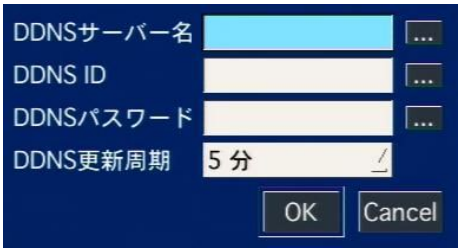
「DDNS」に「サーバー1」 を設定し、[...] を選択すると DDNS 設定画面が表示されます。

DDNS サーバー1 の設定

項目	説明
DDNS サーバー名	DDNS サーバー名を選択します。 **※ 「bestddns.com」 以外は使用できません。**
DDNS 更新周期	DDNS サーバーとの更新周期を設定します。(設定範囲 ： 5～60 分)

・ その他の DDNS サーバーを利用する場合

「DDNS」に「サーバー2」を設定し、[...] を選択すると DDNS 設定画面が表示されます。



DDNS サーバー2 の設定

項目	説明
DDNS サーバー名	利用する DDNS サーバーのアドレスを入力します。
DDNS ID	DDNS サーバーの認証に用いる ID を入力します。
DDNS パスワード	DDNS サーバーの認証に用いるパスワードを入力します。
DDNS 更新周期	DDNS サーバーとの更新周期を設定します。(設定範囲 ： 5～60 分)

３．８　設定管理

設定した内容の保存や初期化などができます。

設定管理メニューの項目

項目	説明
USB へ設定保存	本機の現在の設定値を USB メモリに保存します。 （本機の設定のバックアップをとります。） USB メモリを本機の USB 端子に接続し、 を選択すると選択画面が表示されます。 「はい」を選択すると、USB メモリ内に「config」フォルダが生成され、本機の設定値が CFG 形式で保存されます。
USB から設定読込	USB メモリに保存した設定値を本機に読み込みます。 USB メモリを本機の USB 端子に接続し、 を選択すると選択画面が表示されます。 「はい」を選択すると、USB メモリ内の「config」フォルダに保存されている設定値を読み込み、本機の設定メニューに上書きします。
使用者設定を戻す	使用者設定を工場出荷時の状態に初期化します。 ※　非常時以外は選択しないで下さい。 を選択して表示される確認画面で「はい」を選択すると、本機が再起動され設定値が初期化されます。
工場出荷時に戻す	すべての設定を工場出荷時の状態に初期化します。 ※　非常時以外は選択しないで下さい。 を選択して表示される確認画面で「はい」を選択すると、本機が再起動され設定値が初期化されます。
ソフトウェア アップグレード	USB メモリからファームウェアのアップグレードを行います。 詳細は本節の **【　ソフトウェアアップグレード　】** を参照して下さい。

【 ソフトウェアアップグレード 】

本機のファームウェアを新しいバージョンに更新します。

1. USB メモリに 「upgrade」 という名前のフォルダを作成し、そのフォルダの中に本機のソフトウェアファイル(.bin 形式)をコピーします。

2. USBメモリを本機のUSB端子に接続し、設定メニューの 「設定管理」 から 「ソフトウェアアップグレード」 項目を選択すると、下図のような画面が表示されます。

3. 「スキャン」 を選択すると、本機に接続しているUSBメモリや、その中のbinファイルの情報を読取ります。読み取りに成功したbinファイルのファイル名が正しいことを確認してから、「アップグレード」 を選択します。

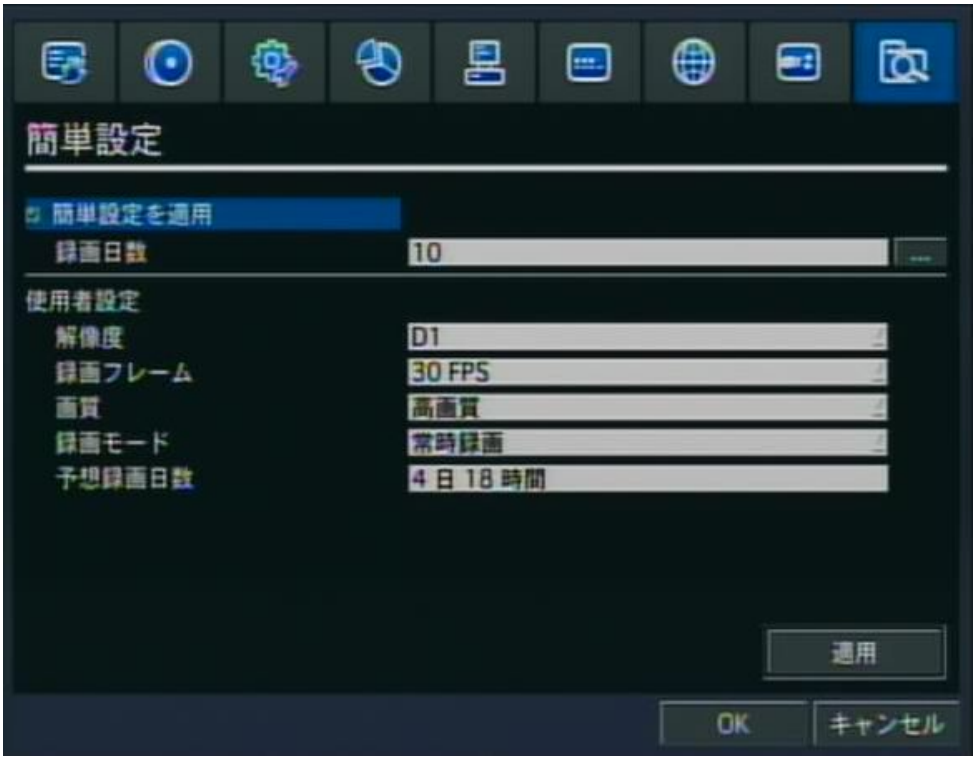
4. アップグレードが始まり、進行状況が表示されます。

5. 「アップグレード成功」 というメッセージが表示されると、本機の USB 端子から USB メモリを取り外します。

6. 再起動をすぐ行うか、後で行うかを選択します。
アップグレードされた内容は、一度再起動した後から適用されます。

３．９　簡単設定

録画したい日数に合わせて、録画条件が自動的に設定されます。



簡単設定メニューの項目

項目	説明
簡単設定を適用	簡単設定を使用するかを設定します。 チェックボックスにチェックを入れると、装着されている HDD の総容量を基準とし、「録画日数」に合わせてシステムが最適の録画条件を設定します。 **「簡単設定を適用」した場合、 3．2 録画 で設定した録画条件は無視されます。**
録画日数	簡単設定を適用して、録画したい日数を指定します。
使用者設定	この下位項目の解像度、録画フレーム、画質、録画モード、予想録画日数は、使用者が「録画日数」に入力した数字によって自動的に変更されます。 各項目の設定値を直接変更することもできます。 「予想録画日数」を確認しながら設定をおこなって下さい。 **※「予想録画日数」は、4CH すべてにカメラ入力がある場合のデータ容量で算出されます。**

注意 ：「予想録画日数」は、理論上の計算による推定値です。
画像の動きや色彩によって、実際の録画日数とは異なることがあります。

4.　検索と再生

HDD に記録した映像を検索し、再生します。

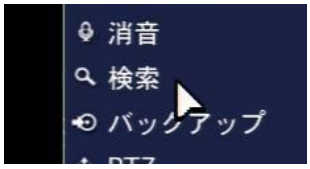
4．1　検索画面に入るには

以下のいずれかの手順で検索画面を開きます。

・ 前面パネルかリモコンの「SEARCH 」を押します。

・ ライブ画面のタスクバーの をクリックします。

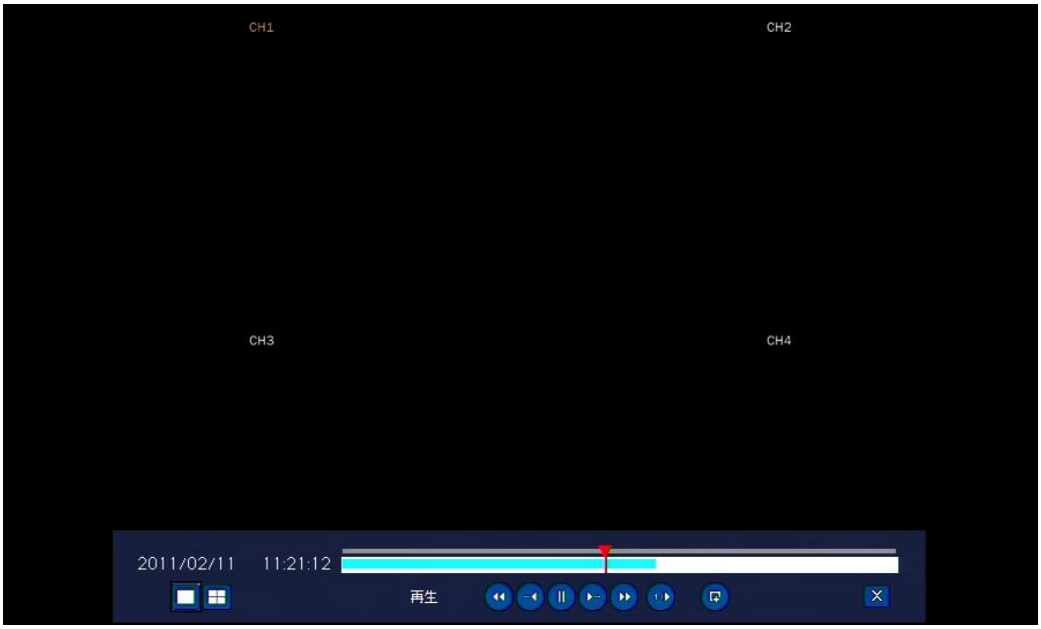
・ ライブ画面で右クリックし、表示されるポップアップメニューから「検索」をクリックします。



ログイン画面が表示され、パスワードを入れると検索画面が表示されます。
ログイン方法は設定画面に入る時と同じですので、 3．0　設定メニューの概要　を参照して下さい。

4．2　再生時の操作

各検索モードで再生したいデータを選択して再生をはじめると、下図のような再生画面が表示されます。



再生画面のコントロールパネルの機能

番号		説明
①	**録画日時**	録画された日付と時刻を表示します。
②	**タイムバー**	再生中の日付の 24 時間をバーで表示します。 録画データがある時間帯は、水色のラインで表示されます。 赤いスライドノブは、現在再生中の時点を示します。 マウスでスライドノブをドラッグ＆ドロップすると、再生時点が変更できます。
③	**画面分割**	再生画面の表示方法を選択します。 ※　本体またはリモコンの「SEL」に対応しています。
④	**再生状態**	現在の再生モードを表示します。 正/逆方向、再生速度などの情報が表示されます。
⑤		映像を再生および一時停止します。 一時停止　　 再生 ※　本体またはリモコンも同じアイコンのボタンに対応しています。
		現在再生中の時刻より 1 分前/1 分後 の映像にジャンプして再生します。 ※　本体またはリモコンも同じアイコンのボタンに対応しています。
		早戻し/早送りします。クリックするごとに再生速度が下記の表のように変わります。 ※　本体またはリモコンも同じアイコンのボタンに対応しています。
		正方向にスロー再生します。クリックするごとに再生速度が 1/4→1/2→1/4･･･に切換ります。
		再生中の映像のバックアップをとります。 動画または静止画（スナップショット）を選択できます。 ※　本体の「CAPTURE」またはリモコンの「BACKUP」に対応しています。
		再生を中止して検索メニューに戻ります。 ※　本体またはリモコンの「ESC」に対応しています。

	再生速度
1 画面	x2→x4→x8→x16→x32→x64→x2→x4→･･･
4 画面	x2→x4→x8→x16→x32→x2→x4→･･･

※ **音声を再生する場合は** ： 音声を再生したい CH をクリックしてアクティブ状態（カメラタイトルが黄色の状態）にするか、その CH の 1 画面表示にして下さい。

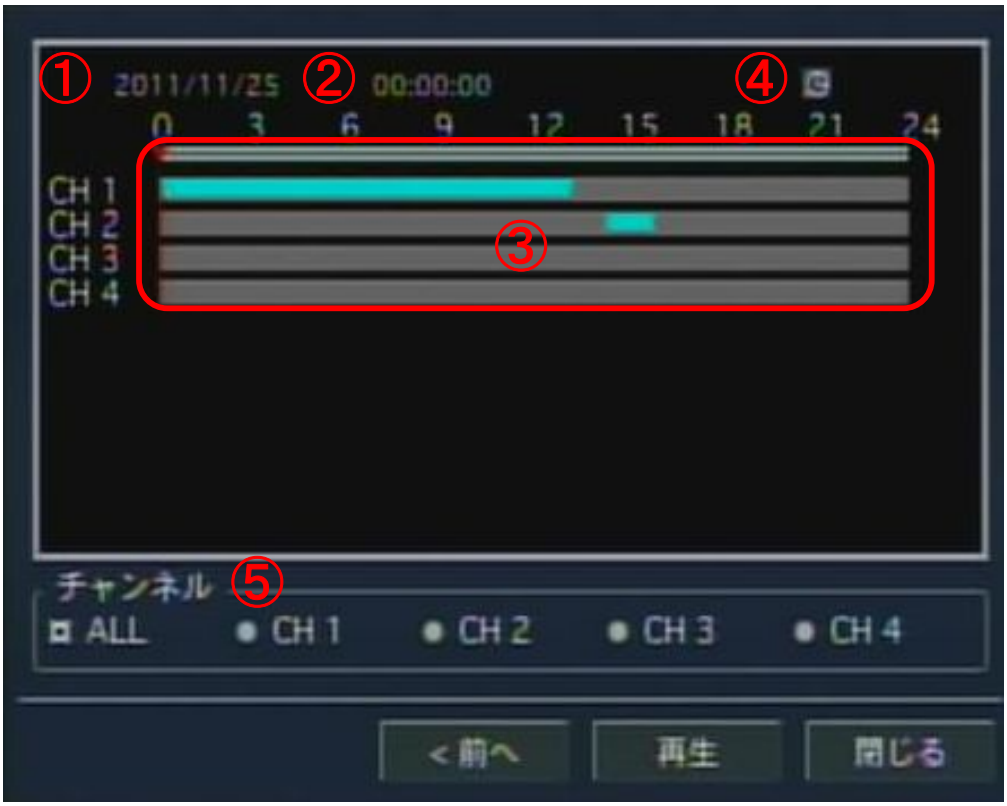
4．3　タイムライン検索

録画データをタイムラインで検索することができます。

1. 検索メニューで「タイムライン検索」を選択し、「次へ」を選択するとカレンダーが表示されます。

2. カレンダー上では録画データのある日付は青色で、選択中の日付は黄色の枠で表示されます。
再生したいデータがある日付を選択し、「次へ」 を選択します。

3. タイムライン検索画面で再生したい時刻やチャンネルを設定し、「再生」 を選択すると再生が始まります。



タイムライン検索画面の説明

	番号	説明
①	**録画日時**	録画された日付と時刻を表示します。
②	**タイムスケール**	スケールの上の赤いバーをドラッグ＆ドロップすることで、再生を始めたい時点を選択します。 本体またはリモコンの場合は「◀▶」でバーを移動させます。
③	**タイムライン**	各チャンネルの録画データをタイムラインで表示します。 録画データのある時間帯は水色で表示されます。 録画データに音声が含まれている時間帯は藍色で表示されます。
④		タイムスケールの目盛りの単位を変更します。 選択するごとにタイムスケールの表示単位が 24 時間　⇔　60 分に切換ります。
		タイムスケールの表示単位が 60 分の時、選択するごとに現在表示中の時間より 1 時間前/1 時間後の時間帯を表示します。 タイムスケールの表示単位が 24 時間の時は、動作しません。
⑤	**チャンネル**	再生したいチャンネルを選択します。 「ALL」にチェックを入れて「再生」をクリックすると、全てのチャンネルが分割画面で再生されます。

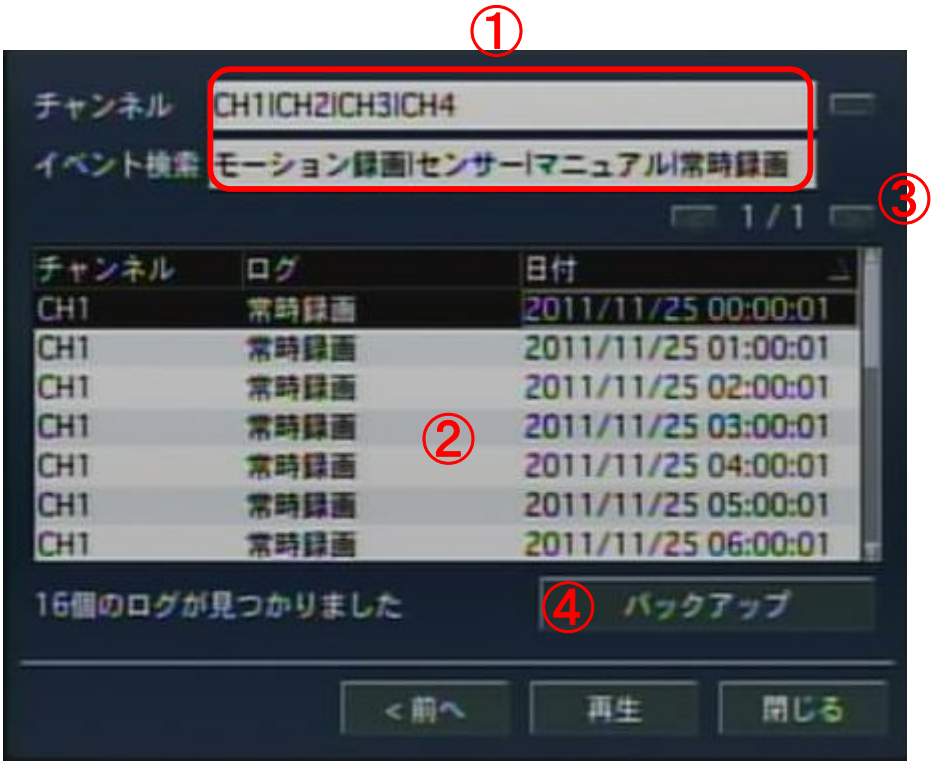
4．4　イベント検索

イベント（録画モード）の種類で録画データを検索することができます。

1. 検索メニューで「イベント検索」を選択し、「次へ」を選択するとカレンダーが表示されます。

2. カレンダー上で、録画データのある日付は青色で、選択中の日付は黄色の枠で表示されます。
再生したいデータがある日付を選択し「次へ」を選択します。

3. イベント検索画面でチャンネルやイベントを指定すると表示されるログから、再生したい録画データを選び、「再生」 を選択すると再生が始まります。



イベント検索画面の説明

番号		説明
①	**検索条件**	検索するチャンネルとイベントタイプ（録画モード）を表示します。 [...] を選択すると検索条件画面が表示されるので、検索したいチャンネルやイベントタイプにチェックを入れることで検索条件の指定ができます。 検索したいチャンネルやイベントタイプは、複数選択することができます。
②	**ログ**	指定した条件で検索されたログをリストで表示します。 「チャンネル」、「ログ」、「日付」 をクリックすると、検索後のリストのソートができます。
③	**ページ**	表示されたログリストのページを数字で表示します。 ページが複数の場合、[< | >] をクリックすると前/次のページを表示することができます。
④	バックアップ	検索されたログを、txt 形式のファイルで USB メモリに保存します。 USB 端子に USB メモリを接続し、このボタンをクリックすると、保存画面が表示されます。

４．５　その他の検索方法

【　先頭映像検索　】

検索メニューで「先頭映像検索」を選び、「再生」を選択すると、HDD に保存されている最も古い録画データの再生が始まります。

【　最終映像検索　】

検索メニューで「最終映像検索」を選び、「再生」を選択すると、HDD に保存されている最も新しい 1 分間のデータの再生が始まります。

【　日時指定検索　】

検索メニューで「日時指定検索」を選択すると、検索したい録画データを年/月/日/時/分/秒で指定できるようになります。

日時を設定し、「再生」を選択すると、指定された日時のデータが再生されます。

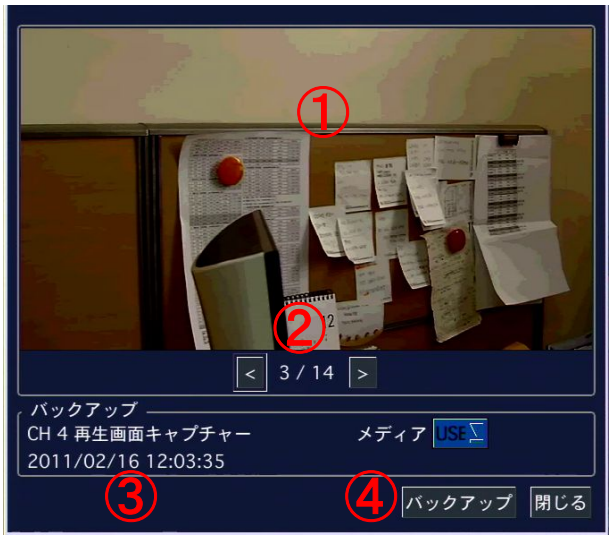
４．６　キャプチャーリストの検索

ライブや再生画面の動画や静止画をキャプチャーしたログを検索することができます。

1. 検索メニューで「キャプチャーリスト」を選択し「次へ」を選択するとカレンダーが表示されます。

2. カレンダー上で、キャプチャーデータのある日付は青色で、選択中の日付は黄色で表示されます。
検索したいデータがある日付を選択し「次へ」を選択します。

3. 選択した日のキャプチャー記録がリストで表示されます。
リストから画像を見たいログを選択し「画面表示」を選択すると、キャプチャー画像の確認やバックアップができます。



キャプチャー画像画面の説明

番号		説明
①	**キャプチャー画像**	キャプチャーしたデータの静止画を表示します。
②	**ページ**	表示されたキャプチャーデータの番号を数字で表示します。 キャプチャーデータが複数の場合、< > を選択すると 前/次 のキャプチャー画像が表示できます。
③	**キャプチャー情報**	キャプチャー時の情報を表示します。 キャプチャーチャンネル、バックアップ動画の長さ、録画データの日時、保存メディアなどの情報が確認できます。
④	バックアップ	表示されているキャプチャーデータをさらにバックアップすることができます。 USB 端子に USB メモリを接続し、これを選択するとキャプチャーデータが USB メモリに保存されます。 このとき動画のキャプチャーデータは動画で、静止画のキャプチャーデータは静止画で保存されます。

4．7　ログの検索

システムの動作・操作記録が閲覧できます。

1. 検索メニューで「ログ」を選択し、「次へ」をクリックするとカレンダーが表示されます。

2. カレンダー上で、システムログのある日付は青色で、選択中の日付は黄色で表示されます。
検索したいログがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。

3. 選択した日のシステムログがリストで表示されます。
USB 端子に USB メモリを接続し、「保存」を選択すると、リストを txt 形式のファイルで USB メモリに保存することができます。

5章　バックアップ

ライブ画面のスナップショットを保存したり、検索した動画のバックアップをとったりすることができます。
バックアップした動画は、同梱のバックアッププレーヤーで再生できます。

5．1　静止画（スナップショット）の保存

ライブ画面の静止画（スナップショット）を USB メモリに保存します。

1. 本機に USB メモリを接続して下さい。

2. ライブ画面において、以下のいずれかの方法で静止画保存画面を開きます。

- ライブ画面で本機の「CAPTURE」またはリモコンの「BACKUP」を押します。
- ライブ画面の下部のタスクバーのバックアップアイコン をクリックします。
- ライブ画面で右クリックしてポップアップメニューを開き、「バックアップ」をクリックします。

3. 「バックアップ」を選択するとバックアップが開始され、進行状況が表示されます。
「完了」というメッセージが表示されると「閉じる」を選択し、バックアップ作業を終了して下さい。

バックアップした静止画は、USB メモリ直下に静止画を保存した日付のフォルダが生成され、その中に保存されます。

５．２　再生映像のバックアップ

検索した映像は、再生中に静止画または動画をバックアップすることができます。
ライブ画面の静止画（スナップショット）を USB メモリに保存します。
本機に USB メモリを接続して下さい。

【　静止画のバックアップ　】

1. ライブ画面の静止画保存と同様に、再生画面でもスナップショットを保存することができます。
再生画面において、以下のいずれかの方法で静止画保存画面を開きます。

・ 再生画面で本機の「CAPTURE」またはリモコンの「BACKUP」を押します。

・ 再生画面の下部のタスクバーのバックアップアイコン をクリックします。

2. バックアップ画面が表示されます。
保存する形式の選択肢の中で「静止画」にチェックを入れ、「次へ」を選択して下さい。

「バックアップ」を選択するとバックアップが開始され、進行状況が表示されます。
「完了」というメッセージが表示されると「閉じる」を選択し、バックアップ作業を終了して下さい。

3. バックアップした静止画は、USB メモリ直下に録画データの日付のフォルダが生成され、その中に保存されます。

【動画のバックアップ】

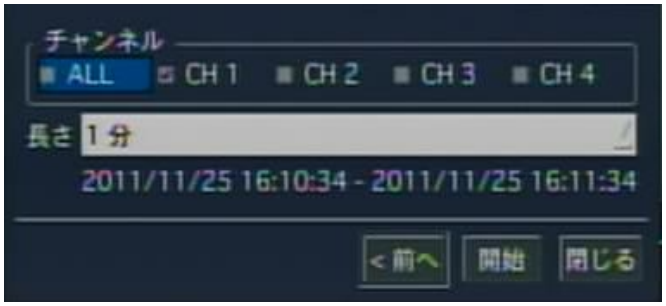
1. 再生中の映像から時間を指定し、動画を USB メモリにバックアップすることができます。
   再生画面において、以下のいずれかの方法で静止画保存画面を開きます。

   ・ 再生画面で本機の「CAPTURE」またはリモコンの「BACKUP」を押します。

   ・ 再生画面の下部のタスクバーのバックアップアイコン をクリックします。

2. バックアップ画面が表示されます。
   保存する形式の選択肢の中で「NSF」または「AVI」にチェックを入れ、「次へ」を選択して下さい。

3. 保存する装置を選択して下さい。
   「NSF」の場合、外付け HDD に大容量バックアップを行うことができます。
   「AVI」 の場合、USB メモリ以外の選択肢はありません。
   「次へ」 を選択すると、下のような画面が表示されます。



4. 「チャンネル」でバックアップするカメラチャンネルにチェックを入れます。
   「ALL」にチェックを入れるとすべてのチャンネルをバックアップします。

5. 「保存時間」で何分間の映像をバックアップするかを指定します。
   前画面の選択肢によって保存可能な時間が異なります。
   ファイル形式が 「NSF」 で、「外付け HDD」 に設定した場合 ・・・ 1～24 時間
   その以外の場合 ・・・ 1～60 分

6. 「長さ」 項目の下の行に表示される選択時間を確認し、「次へ」をクリックして下さい。
   バックアップが開始され、進行状況が表示されます。
   「完了」というメッセージが表示されると「閉じる」をクリックしバックアップを終了します。

※ バックアップした動画は、USB メモリ直下に録画データの日付のフォルダが生成され、その中に保存されます。

【　キャプチャーリストからのバックアップ　】

ライブ画面や再生画面からバックアップした静止画や動画の履歴は、「検索」メニューの「キャプチャーリスト」に保存されます。

もう一度バックアップしたいときは、「キャプチャーリスト」から検索するとスムーズです。

詳細は　4．6　キャプチャーリストの検索　を参照して下さい。

※　大容量バックアップの場合は、キャプチャーリストには履歴が残りません。

5．3　動画バックアップファイルの再生

動画データを USB メモリにバックアップすると、以下のようなフォルダが生成されます。

AVI ファイル形式の場合　：　2 つのフォルダ

例として、バックアップした映像の開始日時が 2011 年 1 月 23 日 12 時 34 分 56 秒の場合、

- フォルダ「 20110123 」の中に、フォルダ「 123456 」があり、その中に CH ごとの AVI ファイルが生成されます。
- フォルダ「 DvrPlayer 」の中に、ビデオコーデック「 UMSDecoderFilter 」が生成されます。

NSF ファイル形式の場合　：　2 つのフォルダ

例として、バックアップした映像の開始日時が 2011 年 1 月 23 日 12 時 34 分 56 秒の場合、

- フォルダ「 20110123 」の中に、フォルダ「 123456 」(大容量バックアップ時は「 1234 」)があり、その中に CH ごとの h264 ファイルが生成されます。
- フォルダ「 DvrPlayer 」の中に、専用プレーヤー「 HDPlayer 」が生成されます。

注意 ： NSF 形式は弊社独自の動画ファイル形式であるため、汎用の動画再生ソフトウェアで再生することはできません。専用プレーヤー「 HDPlayer 」で再生して下さい。

【　AVI ファイルの再生　】

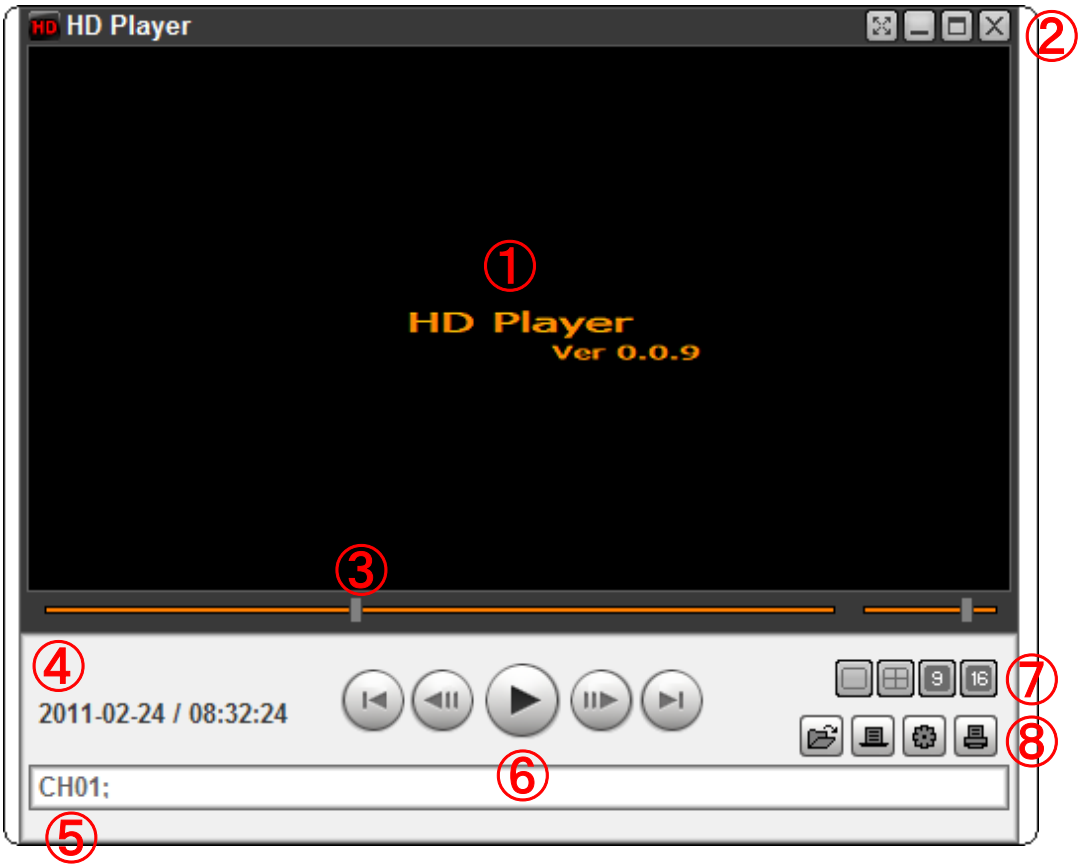
1. 「 DvrPlayer 」の中の、ビデオコーデック「 UMSDecoderFilter 」をダブルクリックします。

2. 画面にしたがってインストール作業を進めて下さい。

3. インストール完了後、Windows Media Player などで AVI ファイルを再生して下さい。

【 HD Player の構成 】

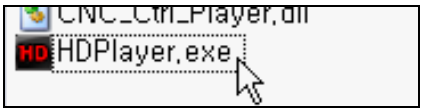
NSF 形式のバックアップファイルは、「 DvrPlayer 」フォルダ内のプレーヤー「 HDPlayer 」で再生することができます。



HD Player 起動画面

【 バックアップ動画の再生手順 】

1. 「HDPlayer.exe」をダブルクリックし、HD Playerを立ち上げます。



2. 上のHD Player起動画面の図中の⑧ をクリックし、再生したい NSF ファイルのあるフォルダを選択します。

3. 「OK」 をクリックすると、映像が再生されます。

HD Player の構成

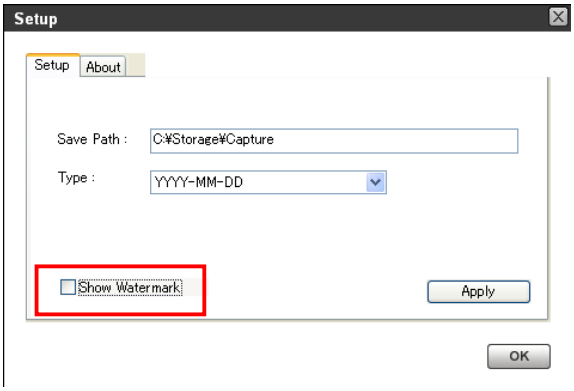
	番号	説明
①	**画面表示部**	バックアップ映像が表示されます。 この部分をマウスで操作すると、画像のキャプチャーやデジタルズームなどができます。 詳細は【 HD Player での再生画面のキャプチャー 】および【 HD Player で再生画面のデジタルズーム 】を参照して下さい。
②		フルスクリーン表示をします。 フルスクリーン状態を解除するには、PC の「ESC」 キーを押して下さい。
		ウィンドウを最小化します。
		ウィンドウを最大化します。
		HD Player を終了します。
③	**タイムバー**	動画の再生時点をスライドノブで表示します。 スライドノブをドラッグ&ドロップすることで、再生時点を移動することができます。
④	**録画時刻**	現在再生中の映像の録画された日付や時刻が表示されます。
⑤	**録画チャンネル**	現在再生中の映像のチャンネル番号が表示されます。
⑥		再生/一時停止。 ： 一時停止　　 ： 再生
		早戻し/早送り。 クリックするごとに再生速度が 2 倍速→4 倍速→8 倍速→2 倍速･･･に変化します。
		現在再生中の時点より 3 秒前/先の映像にジャンプして再生します。
⑦		再生画面を分割画面で表示します。
⑧		再生したい動画のあるフォルダを選択します。
		音声記録のある動画ファイルを再生します。
		設定画面を表示します。 キャプチャー画像の保存フォルダ指定や、バージョン情報の確認などができます。
		現在再生中の画像をプリンタで印刷します。

【　画面左上および右下の文字の非表示　】

映像を再生した際に画面左上および右下に黄色の文字が表示されます。
文字表示が必要ない場合は、以下の手順で非表示にします。

1. ライブ画面右下の をクリックし、設定画面を開きます。

2. 「Setup」 画面の 「Show Watermark」 のチェックを外します。



【　HD Player で再生画面のキャプチャー　】

HD Player で再生中の動画の画像を、静止画で保存することができます。
画面表示部を右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。
ポップアップメニューの「Capture」を選択すると、表示中の画像が指定したフォルダに JPEG で保存されます。
キャプチャー画像の保存先は、ポップアップメニューの「About」を選択すると表示される Setup メニューで指定します。

【　HD Player で再生画面のデジタルズーム　】

HD Player で再生中の動画の画像を、デジタルズームアップすることができます。
画面表示部にカーソル置いて、マウスのホイールを上へスクロールすると画像がズームイン、下へスクロールすると画像がズームアウトされます。
このとき、画面表示部の左下に全体画面が表示されます。
全体画面の赤い枠は、画面表示部に現在表示中の領域を示します。
画面をドラッグ&ドロップすることで、ズーム表示領域の位置を移動させることができます。

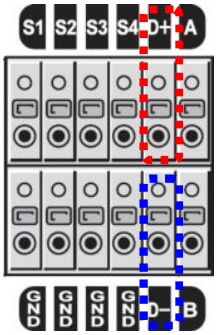
[左下に全体画面が表示]　[ホイールでズームイン]　[ドラッグで表示移動]

6章　PTZ コントロール

PTZ 対応カメラを接続して、本機でカメラの PTZ コントロールを行うことができます。

6．1　PTZ コントロールを行う前に

【　PTZ カメラの接続と設定　】



RS −485 対応の PTZ カメラを本機背面の RS−485 ポートに接続します。

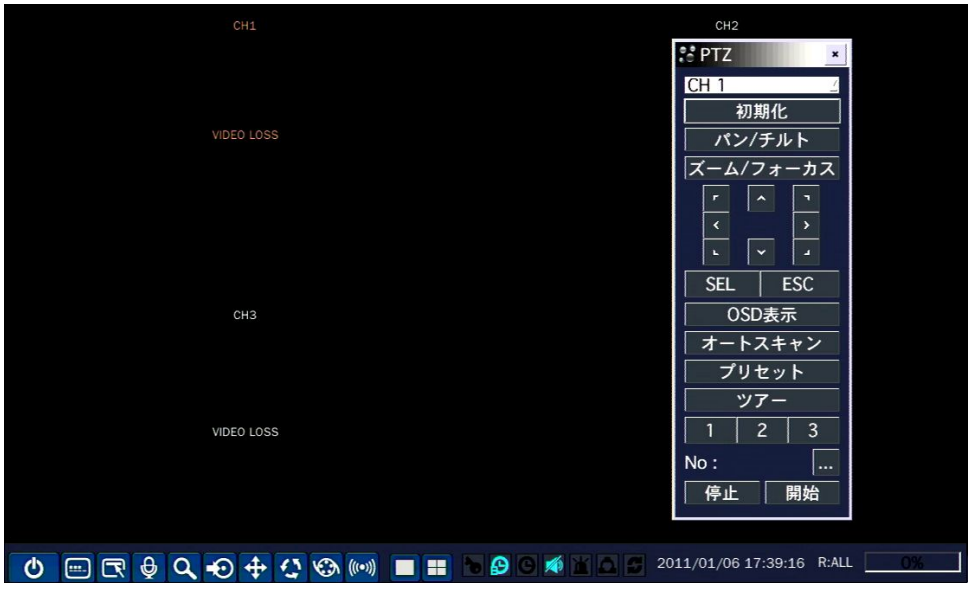
本機の設定画面を開き、「デバイス」 内の「PTZ」項目で PTZ の設定を行います。
詳細は 3．3　デバイス を参照して下さい。

【　PTZ コントロール画面に入るには　】

以下のいずれかの方法で PTZ コントロール画面を開きます。

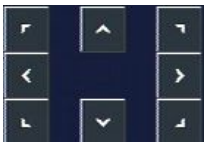
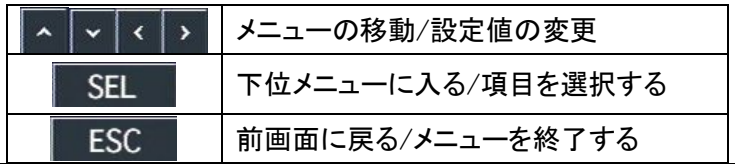
- 本機の前面パネルまたはリモコンの 「PTZ」 を押します。
- ライブ画面の下部のタスクバーの をクリックします。
- ライブ画面で右クリックし、表示されるポップアップメニューの 「PTZ」 をクリックします。

パスワード入力画面が表示され、パスワードを入力すると PTZ コントロール画面が表示されます。



6．2 PTZ コントロールパネル

PTZ コントロールパネル

ボタン	説明
初期化	選択したカメラの PTZ 設定を初期化します。
パン/チルト	パン/チルト を選択し、 右図のコントロールボタンをクリックすることで 移動したい方向へ移動します。 
ズーム/フォーカス	ズーム/フォーカス を選択し、 / でズームアップ / ズームアウトを、 / でフォーカス NEAR / FAR を調整します。
OSD 表示	カメラの OSD を画面に表示し、本機でカメラのメニューを設定することができます。 カメラ OSD モードの操作には、下記のボタンを使用します。 
オートスキャン	操作の前に、カメラ OSD からオートスキャン動作を設定して下さい。 オートスキャン を選択し、数字ボタンでカメラ OSD から設定したオートスキャン番号を入力し、開始 を選択すると、オートスキャン動作が始まります。 停止 を選択するとオートスキャンを中止します。
プリセット	パン/チルト動作で、表示したい場所にカメラを位置させ、プリセット を選択し、数字ボタンを選択して 設定の保存 を選択すると、その時点のカメラ位置が保存されます。 カメラ位置は 0～99 番まで保存できます。 数字ボタンを選択して 移動 をクリックすると、その番号に保存されたカメラ位置へカメラが移動します。
ツアー	操作の前に、カメラ OSD からツアーグループを設定して下さい。 ツアー を選択し、数字ボタンでカメラ OSD から設定したツアーグループの番号を入力し 開始 を選択すると、ツアー動作が始まります。 停止 を選択するとツアー動作が中止されます。
数字ボタン	オートスキャン、プリセット、ツアーメニューで使用します。 3 番以上の数字は、… を選択して表示される入力表から入力できます。

7章 遠隔監視

付属のクライアントソフトを使うと、本機のライブ映像や録画映像を PC から見ることができます。

注意 ： 帯域幅が大きい場合は、1 台の本機に同時に接続できる PC の台数は 4 台までです。
帯域幅が小さい場合は、1 台の本機に接続する PC の台数は 1 台にすることを推奨します。

注意 ： ルータを通じてインターネットに接続している場合、ルータからのポートの開放(Port Forwarding)が必要です。
本機のネットワークメニューに設定されている基本ポート以外に、UMS クライアントからのバックアップ機能を使用したい場合は、基本ポート+1 のポートをオープンして下さい。
尚、UMS クライアントからの遠隔設定を行いたい場合は、基本ポート+10 のポートと、Web ポートをオープンして下さい。
設定例）
本機のネットワークメニューに入力したポート番号が 5445 の場合、ルータから 5445/5446/5455 の 3 つのポート、および Web ポートの 80 をオープンして使用します。

【 UMS クライアントソフトの動作環境 】

CPU ： I ntel Pentium Ⅳ 1.4Ghz 以上
メモリ ： 512MB (推奨 ： 1GB 以上)
VGA ： 64MB (推奨 ： 128MB 以上)
解像度 ： 1024x768
O/S ： Windows 2000/ XP Professional/ XP home
Direct X ： Di rectX 9 以上

7．1　クライアントソフトのインストール

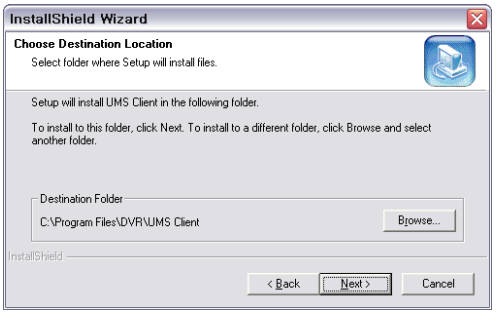
同梱の CD-ROM には、本機1台の遠隔監視を行うソフト 「UMS Client」 および、
数台の遠隔監視を行うソフト 「UMSM Client」 がパッケージされています。

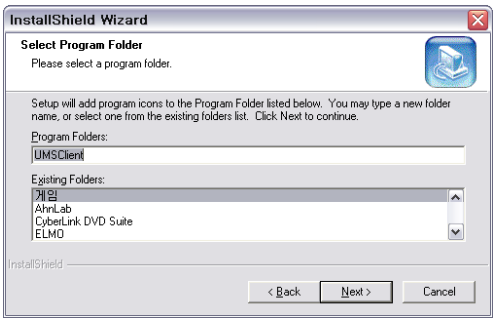
1. 付属の CD-ROM を PC にセットして、「UMSClient_3.*.*.*_yymmdd.exe」 をダブルクリックすると、インストーラが起動します。

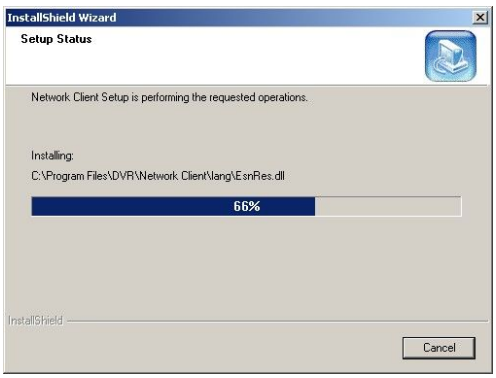
2. 「Choose Destination Location」 画面でインストール先のフォルダを確認して 「Next」 をクリックします。
   インストール先のフォルダを変更する場合は、「Browse」 をクリックしてフォルダを選択して下さい。

3. 「Select Program Folder」 画面でプログラムフォルダを確認し、「Next」 をクリックします。
   プログラムフォルダを変更する場合は、ボックスに直接入力するか、あるいは 「Existing Folders」 のリストから選択して下さい。

4. インストールが開始され、「Setup Status」 画面にインストールの進行状況が表示されます。







インストールが終了すると、右図のような「UMS Client」のショートカットアイコンがデスクトップに表示されます。
　アイコンをクリックすると、クライアントソフトが立ち上がります。

7．2　UMS クライアント

遠隔地にある本機のカメラ映像を、PC から監視・再生することができます。
インストールした 「UMS Client」 を起動すると、下のようなウィンドウが表示されます。

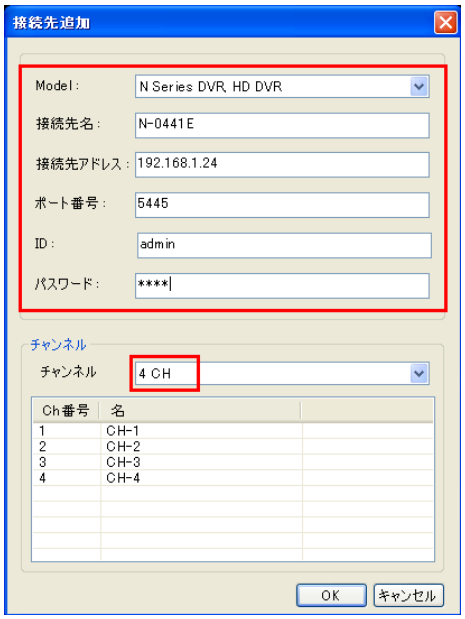
7．2．1　接続方法

UMS クライアントに本機（EHVR-1000）の接続先情報を登録します。
あらかじめ本機のネットワーク設定を行って下さい。（ 3．7　ネットワーク　参照）

1.

をクリックして設定画面を開いてください。

2. 「追加」 をクリックすると、右のような画面が表示されます。



3. 「Model」 の選択肢から 「N Series DVR、HD DVR」 を選んでください。
「接続先名」 は任意のものを入力してください。
「接続先アドレス」 に本機（EHVR-1000）の IP アドレスを入力してください。
「ポート番号」 に、本機に設定したポート番号を入力してください。（初期ポートは 「5445」 です。）
「ID」 および 「パスワード」 に、レコーダーで設定している 「ユーザー」 および 「パスワード」 を入力してください。

4. 「チャンネル」 は 「4CH」 を選択してください。

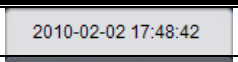
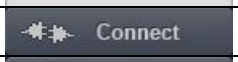
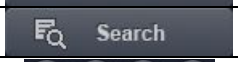
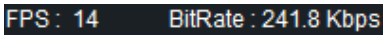
5. 「OK」 をクリックして設定画面を閉じます。

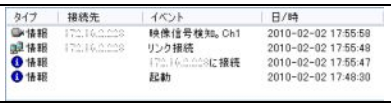
6.

をクリックして作成した接続先を選ぶと、ライブ画面が表示されます。

7．2．2　ライブ画面での操作

ライブ画面での操作

表示	名前	説明
	画面表示部	映像を表示します。 デジタルズーム時は左下に全体画面が表示されます。
	日時情報	現在の日時を表示します。
	接続/切断	通信を接続/切断します。
	検索	ライブモードと検索モードとを切り換えます。
	チャンネル表示	選択チャンネルを１画面で表示するか、分割画面で表示するかを切り換えます。
	PTZ コントロール パネル	PTZ カメラのパン/チルト/ズーム/フォーカスを調節します。 中央の 「PT」 をクリックすると PTZ コントロールモードに切り換わります。
	キャプチャー	ライブ画面のスナップショットを保存します。 クリックするとウィンドウが表示され、ファイル形式を選択します。 初期設定では保存先が 「C:¥Storage¥Capture」となっています。
	再生/停止	ライブ映像を再生/一時停止させます。
	録画 ON	ライブ映像を PC の HDD に保存します。
	プリセット	PTZ カメラのプリセットの設定を行います。
	アラーム	本機側にアラームを発生させます。
	セットアップ	セットアップ画面を表示します。
	HDD 容量	本機の HDD の使用容量を表示します。
	ネットワーク 状況	ネットワークの伝送フレーム数や帯域幅を表示します。

表示	名前	説明
	ボリューム	出力音量を調整します。 スピーカーのアイコンをクリックすると音声出力を入/切にします。
	ログウィンドウ	操作履歴を表示します。

【　UMS クライアントのデジタルズーム機能　】

本機と同様、UMS クライアントでもライブ画面のデジタルズームが可能です。

UMS クライアントの画面表示部にカーソルをおくと、画面表示部の左下に全体画面が表示されます。

マウスのホイールのスクロール操作により、画面表示部に表示される画像がズームアップ/アウトします。

全体画面の赤い枠は、画面表示部に現在表示されている領域を示します。

画面をドラッグ＆ドロップすることで、ズーム表示の位置を移動させることができます。

[左下に全体画面が表示]　　[ホイールでズームイン]　　[ドラッグで表示移動]

※　再生画面も同様にズームを行うことができます。

【　双方向オーディオ　】

UMS クライアント側と本機側の双方向オーディオ通信ができます。

PC(UMS クライアント)側　：　マイクやスピーカーに対応するサウンドカードが必要です。

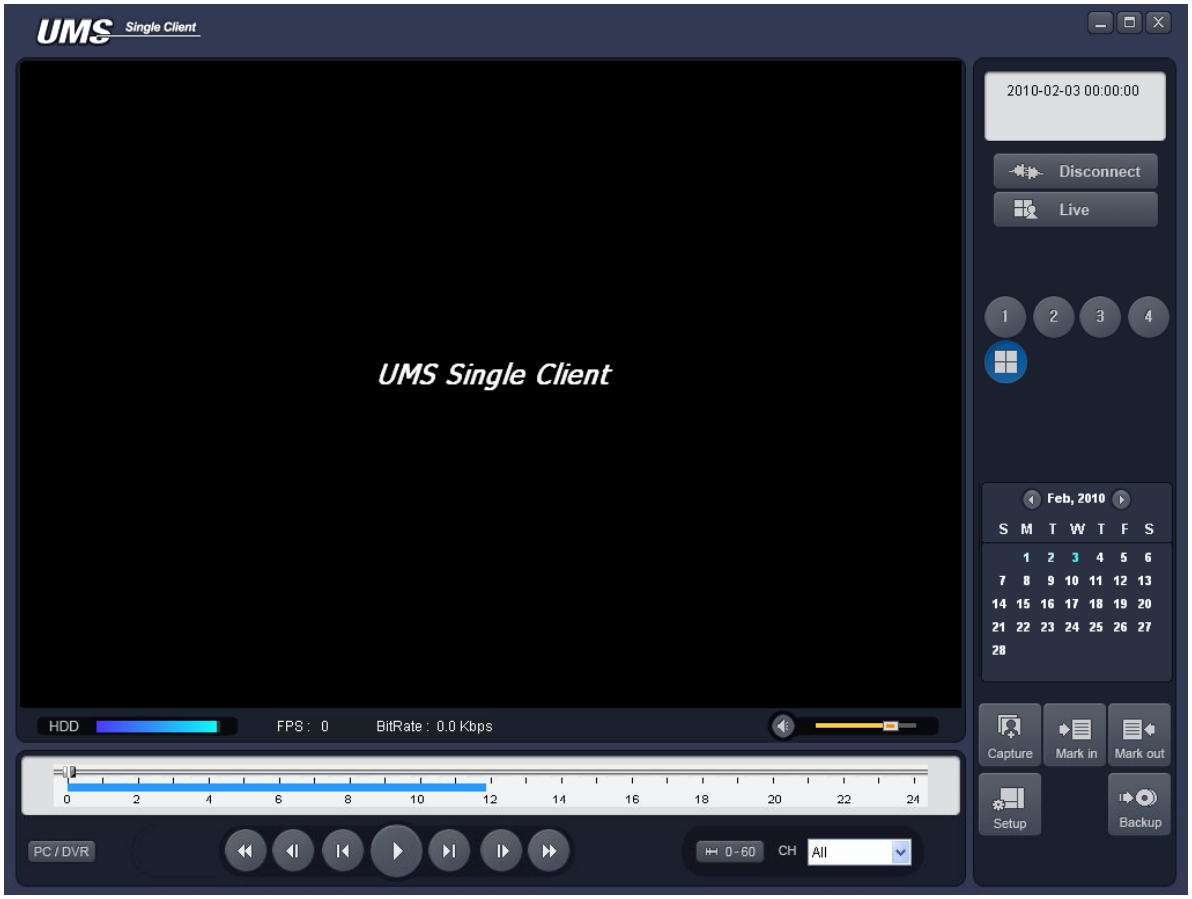
本機側　：　マイクを音声入力端子に接続し、スピーカーを音声出力端子に接続します。

7．2．3　検索画面での操作

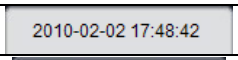
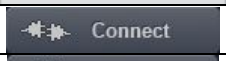
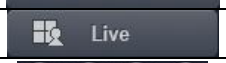
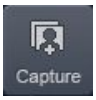
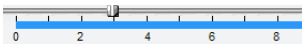
本機に記録した録画映像を、PC 上で再生することができます。

ライブ画面で

をクリックすると、検索モードに移行します。



検索画面の操作

表示	名前	説明
	**日時情報**	再生中の映像の録画日時を表示します。
	**接続/切断**	ネットワーク状態を接続/切断にします。
	**検索**	検索モードとライブモードとを切り換えます。
	チャンネル表示	選択チャンネルを 1 画面で表示するか、分割画面で表示するかを切り換えます。
	カレンダー	再生したい映像の日付を選択します。 録画データのある日付は水色で表示されます。
	**キャプチャー**	ライブ画面のスナップショットを保存します。 クリックするとウィンドウが表示され、ファイル形式を選択します。 初期設定では保存先が 「C:¥Storage¥Capture」となっています。
	開始点	再生映像からバックアップしたい区間の開始点を指定します。
	終了点	再生映像からバックアップしたい区間の終了点を指定します。
	バックアップ	録画映像を AVI 形式でバックアップします。
	**タイムラインバー**	スライドノブをドラック&ドロップすることで再生したい時刻に移動できます。 データのある区間は水色で表示されます。
	PC/DVR	再生する映像の読込み元を、PC または本機(DVR)を切り換えます。
	再生/一時停止	録画映像を再生/一時停止します。 タイムラインの上で再生したい時刻を選択し、このボタンをクリックすると再生がはじまります。
	1 フレーム送り/戻し	一時停止時にクリックすると、1フレーム送り/戻しを行います。
	1 分送り/戻し	クリックすると 1 分先/前の映像にスキップします。
	早戻し/早送り	再生中の映像を早戻し/早送りします。
	表示単位切換え	タイムラインの 24 時間/60 分表示を切り換えます。

7．2．4　動画のバックアップ

本機または PC に保存されている録画データを動画ファイルでバックアップすることができます。

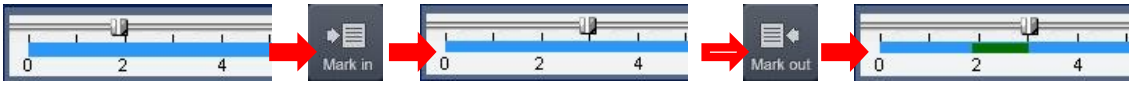
PC / DVR で再生する映像の読込み元を、PC または本機（DVR）を切り換えます。

PC のデータを再生　：　UMS クライアントでライブ画面の監視中に、Backup をクリックして PC の HDD に保存しておいたデータを再生できます。

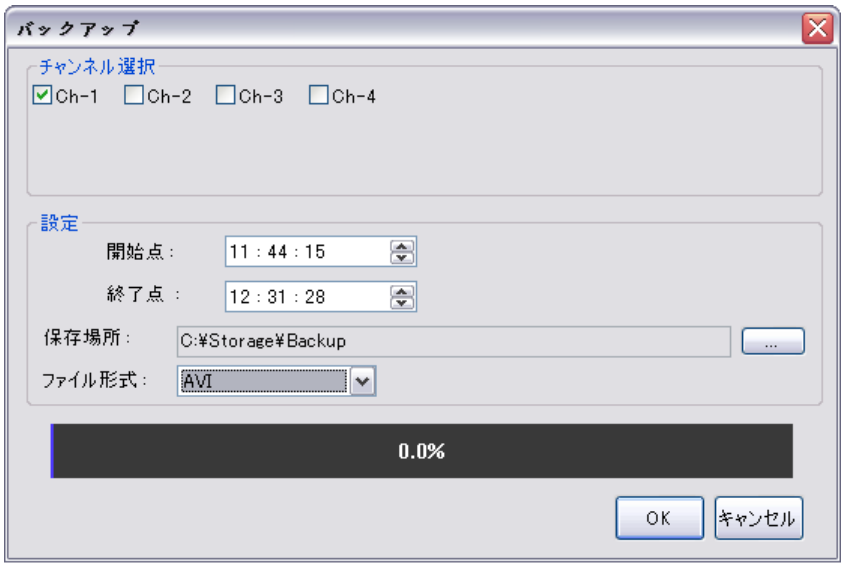
本機のデータを再生　：　本機の録画設定により、本機の HDD に保存されている録画データをネットワークを通じて再生できます。

タイムラインのスライドノブをドラック＆ドロップしてバックアップしたいデータの先頭時刻に位置させ、Mark in をクリックすると、選択時点がバックアップの開始点として指定されます。

スライドノブを再度ドラック＆ドロップして開始点より後の時刻に位置させ、Mark out をクリックすると、選択時点がバックアップの終了点として指定され、開始点と終了点の間の区間が緑色に変わります。



バックアップする区間が緑色で指定された状態で、Backup をクリックすると、バックアップのダイアログ画面が表示されます。



チャンネル選択 ： バックアップするチャンネルを選択します。
開始点/終了点 ： バックアップする時間を再指定することができます。
保存場所 ： バックアップファイルが保存されるフォルダを指定します。
　　デフォルトは 「C:¥Storage¥Backup」 になっています。
ファイル形式 ： AVI ファイル形式で保存されることになります。

「OK」 をクリックすると進行状況が表示され、バックアップがはじまります。

※バックアップファイルの再生方法は、【 5．3　動画バックアップファイルの再生 】を参照して下さい。

7．2．5　セットアップ画面

をクリックし、UMS クライアントの設定を変更・確認します。

【　一般設定　】

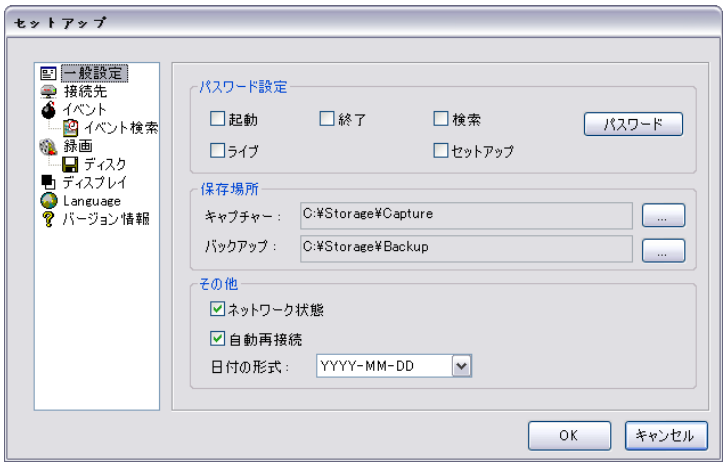
パスワード設定　：　各操作項目にチェックを入れると、操作を行う時にパスワードが必要になります。
「パスワード」 をクリックするとパスワードを設定することができます。

保存場所　：　キャプチャーした静止画か、バックアップした動画のファイルを保存するフォルダを指定します。

ネットワーク状態　：　ライブモードで、FPS やビットレートなどのネットワークのステータスを表示します。

自動再接続　：　何らかの原因でネットワークが切断された時、自動的に再接続を行います。

日付の形式　：　日付の表示形式を選択します。



【　接続先　】

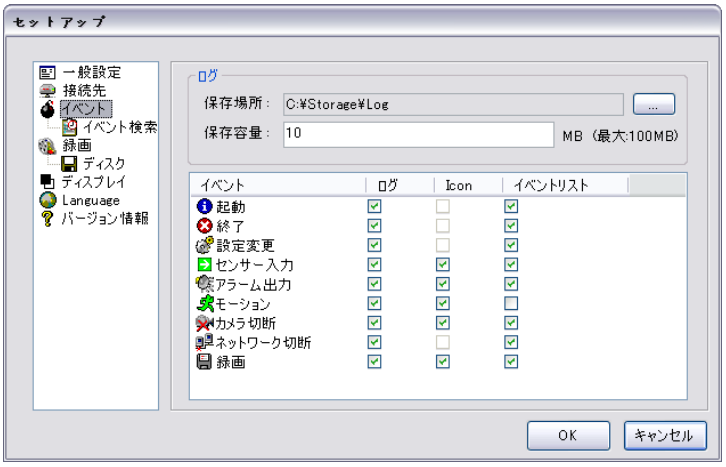
接続する本機の Site 名、IP アドレス、ポート番号、パスワードを登録し、UMS クライアントから接続することができます。

接続先の登録数には制限がなく、すでに登録されている接続先の情報を変更・削除することもできます。

【 イベント 】

ログ ： UMS クライアントでイベントが発生したログのリストを保存するフォルダと制限容量を設定します。

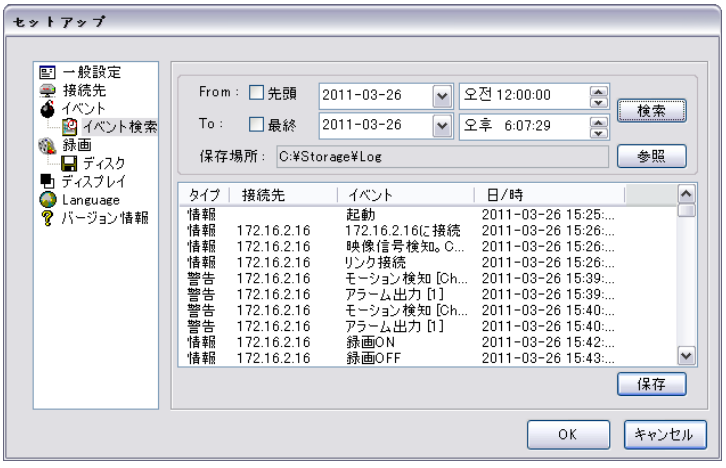
イベント設定 ： 各イベント項目にチェックを入れ、そのイベントが発生した時にログリストに記録するか/ライブ画面にアイコンを表示するか/ライブ画面の下部のログウィンドウに表示するか を設定します。



【 イベント検索 】

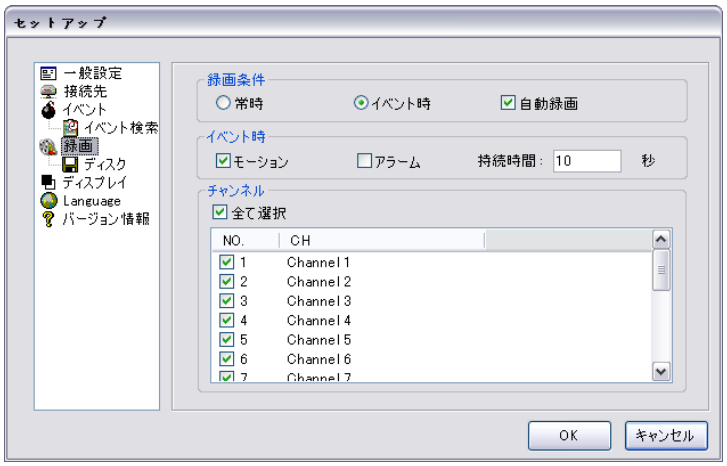
イベントの発生記録を検索したい日時範囲を指定し、「検索」 をクリックすると、指定範囲内に発生したイベントのリストが表示されます。

保存記録の最初から検索したい場合は 「先頭」 に、保存記録の最後まで検索したい場合は「最終」にチェックを入れて下さい。



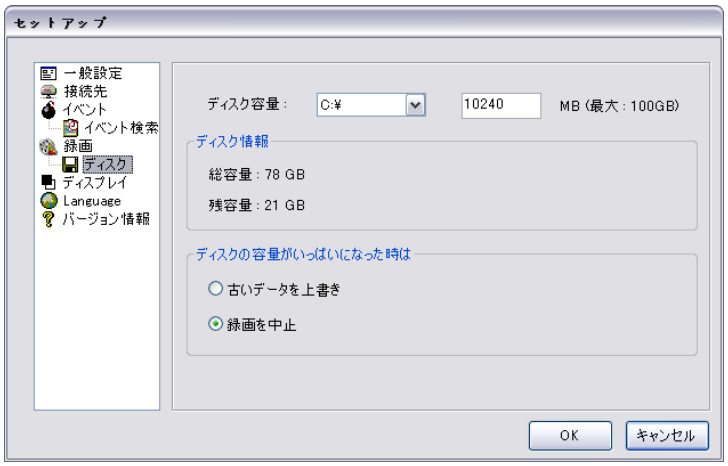
【 録画 】

UMS クライアントでライブ画面を録画する時の条件、イベントの種類、チャンネルなどを設定します。



【 ディスク 】

UMS クライアントでライブ画面を録画したデータを保存する PC のディスクと、データの最大容量を指定します。

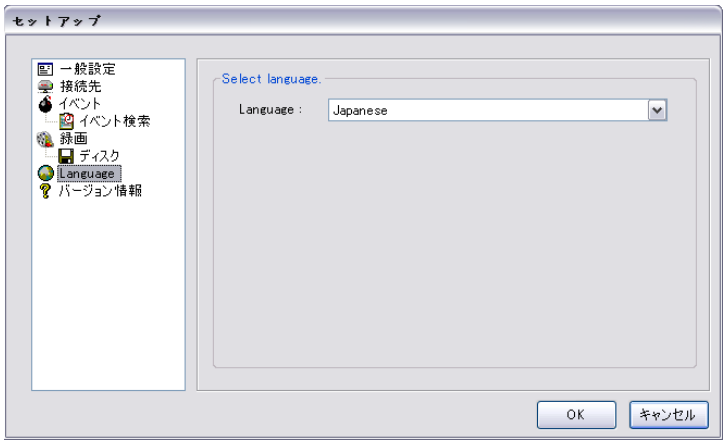


【 ディスプレイ 】

複数のモニターを使用する PC で、セカンダリーモニターの UMS 映像に乱れが発生すると、このチェックボックスにチェックを入れます。

【 Language 】

UMS クライアントは多言語を対応しています。使用する言語を変更すると、一度プログラムを終了してから再度立ち上げた時から適用されます。



７．２．６ ポップアップメニュー

UMS クライアント画面の上にカーソルをおいて右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

【 接続・切断 】

接続先に接続するか、接続を切断します。

【 マイク ON 】

PC に接続されているマイクを利用し、本機が設置されている現場に音声を送ることができます。

【 フルスクリーン 】

UMS クライアントの画面表示部だけをフルスクリーンで表示します。

フルスクリーン表示を解除する時は PC の「ESC」 キーを押します。

【 セットアップ 】

UMS クライアントの設定を行います。

詳細は ７．２．５ セットアップ画面 を参照して下さい。

【 遠隔設定 】

接続中の DVR 本体の設定を遠隔で変更できます。

詳細は ７．２．７ 遠隔設定 を参照して下さい。

【 ロック 】

クリックすると、パスワード入力のダイアログが表示されます。

パスワードを入力すると、画面表示部の右クリック以外は操作できなくなります。

ロックの解除は同じ手順で行います。

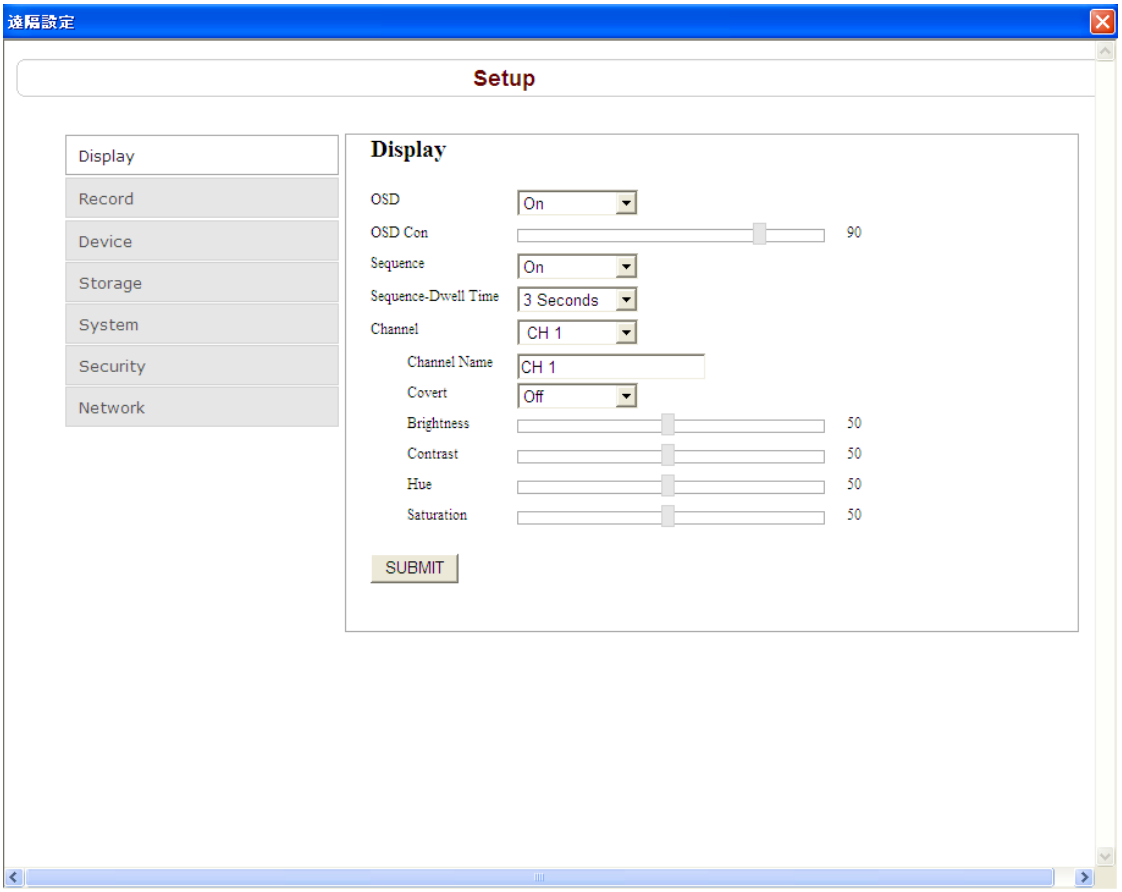
【 終了 】

UMS クライアントを終了します。

７．２．７　遠隔設定

接続中の本機の設定を遠隔で変更できます。

ポップアップメニューから 「遠隔設定」 をクリックすると、「SETUP」 画面が表示されます。



設定を変更し、「SUBMIT」 をクリックすると、変更した設定内容が本機に反映されます。
各設定項目の詳細内容は、 3章　各種設定 を参照して下さい。
※　表記はすべてアルファベットです。

７．４　Web クライアント

本機がネットワークに接続されていると、I nternet Explorer で映像を監視・再生することができます。

【　Internet Explorer からの接続　】

PC の Web ブラウザ(Internet Explorer)を起動します。

ブラウザのアドレスバーに本機のＩＰアドレスを入力し、Enter キーを押します。

入力例　：

Web ブラウザに Web　クライアントが表示されます。

【　WEB クライアントの操作　】

WEB クライアントは UMS クライアントと同様の使用となっています。

操作方法については　７．２　UMS クライアント　を参照して下さい。

8章 トラブルシューティング

症状	確認	対処
電源が入らない	電源コードが本体側およびコンセント側に接続されていますか？	電源コードを正しく接続して下さい。
映像が何も表示されない	本体とモニターが正しく接続できていますか？	本体背面のVGA端子あるいはCVBS端子にモニターを接続して下さい。 →【 1．3 外観 】
	モニターの電源が入っていますか？	モニターの電源をONにして下さい。
	※CVBS端子をメインモニターにしている場合 「映像出力設定」を変更されていませんか？	本機のVGA端子から、VGA入力対応のモニターへ接続して下さい。 CVBS端子からメインモニター出力をするときは、「VGA解像度」を「1280×1024」から「1024×768」に変更して下さい。 →【 3．1 画面表示 】
カメラの映像が表示されない	画面に「VIDEO LOSS」と表示されていますか？	カメラの電源が入っていることを確認し、ケーブルで本機と正しく接続して下さい。
	「映像非表示」 がONになっていませんか？	設定項目 「画面表示」 の 「映像非表示」 をOFFにして下さい。 →【 3．1 画面表示 】
設定画面に入れない	ログイン中のユーザーに設定の権限がありますか？	設定の権限のあるユーザーもしくは管理者でログインして下さい。 →【 3．6 セキュリティー 】
ライブ音声が出ない	音声入力端子にケーブルが接続されていますか？	ケーブルを正しく接続して下さい。
	音声出力端子にケーブルが接続されていますか？	ケーブルを正しく接続して下さい。
	音声出力のCH選択は正しいですか？	ライブ画面のタスクバーまたはポップアップメニューから、音声出力CHを選択して下さい。 →【 2．1 ライブ画面について 】 →【 2．2 ポップアップメニュー 】

症状	確認	対処
マウス操作ができない	マウスがUSB端子に接続できていますか？	マウスを本体前面または本体背面のUSBポートに接続して下さい。 →【 1．3 外観 】
	無線方式のマウスについては、設定と距離をご確認下さい。	マウスの取扱説明書を確認し、通信の設定を完了して下さい。また確実に電波の届く範囲で使用して下さい。
リモコン動作ができない	リモコンIDは正しいですか？	本機に設定したリモコンIDを入力して下さい。 →【 3．2 デバイス 】
録画ができない	録画設定は正しく設定されていますか？	設定項目 「録画」 の 「録画モード」 を 「録画しない」 以外のものに設定して下さい。 →【 3．2 録画 】
	録画スケジュールの時間内ですか？	「録画モード」 が 「スケジュール録画」 になっている場合、録画したい時間のスケジュールを設定して下さい。 →【 3．2 録画 】
	上書きはONになっていますか？	設定項目 「録画装置」 の 「上書き」 をONにして下さい。 →【 3．4 録画装置 】
カメラのPTZコントロールができない	カメラがPTZに対応していますか？	カメラの取扱説明書等で仕様を確認して下さい。
	プロトコル、通信速度などの設定は正しいですか？	設定項目 「デバイス」 の 「PTZ」 で設定を正しくおこなって下さい。 必ずカメラの設定値と本機の設定値を合わせて下さい。 →【 3．3 デバイス 】
検索再生ができない	ログイン中のユーザーに検索再生の権限がありますか？	検索再生の権限のあるユーザーでログインして下さい。
再生画面で音声が出ない	音声を出力するCHがアクティブになっていますか？	音声を出力するCHをクリックするか、またはそのCHを1画面表示にして下さい。

症状	確認	対処
アラーム信号が出力されない	ライブ画面のタスクバーのアラーム出力アイコン がハイライトになっていますか？	タスクバーのアイコン をクリックして、アラーム出力を有効にして下さい。 →【 2．1 ライブ画面について 】
ライブ画面中の操作が効かない	ロック中になっていませんか？	タスクバーまたはポップアップメニューでロックを解除して下さい。 →【 2．1 ライブ画面について 】 →【 2．2 ポップアップメニュー 】
バックアップしたファイルが再生できない	※「AVI」 形式でバックアップした場合 ビデオコーデック「UMSDecoderFilter」をインストールしていますか？	ビデオコーデック「UMSDecoderFilter」をインストール後、Windows Media Player等で再生して下さい。 →【 5．3 動画バックアップの再生 】
	※「NSF」 形式でバックアップした場合 「 HD Player 」を使用していますか？	専用のプレーヤー「HD Player」で再生して下さい。 →【 5．3 動画バックアップの再生 】
UMS/Webクライアントからアクセスできない。	IPアドレスは正しいですか？	本機のIPアドレスをご確認の上、正しく入力して下さい。 本機のローカルIPアドレスは設定項目 「システム」 の 「システム情報」 で確認できます。 →【 3．5 システム 】
	「クライアントアクセス」は「ON」になっていますか？	「システム」内の「クライアントアクセス」を「ON」にして下さい。 →【 3．5 システム 】

9章 記録日数表

表の数値は **カメラ 1 台あたり** の記録日数です。
表の記録日数はあくまで参考値であり、記録日数を保証するものではありません。
音声を記録する場合は、1 日あたり **675MB** の容量を必要とします。

【 HDD 500GB の場合 】

記録時間表

解像度	画質	記録日数					
		フレームレート [fps]					
		1	2	3	7	15	30
D1(704×480)	最高	89	68	56	31	23	15
	高	111	86	70	39	29	18
	中	148	115	93	53	38	25
	標準	179	138	112	63	46	30
	ネットワーク	223	172	140	79	58	37
Half D1(704×240)	最高	178	137	112	63	46	30
	高	223	172	140	79	58	37
	中	297	230	187	106	77	50
	標準	358	276	225	127	93	60
	ネットワーク	446	345	281	159	116	75
CIF (352×240)	最高	357	275	224	127	93	60
	高	446	345	281	159	116	75
	中	595	461	375	212	155	101
	標準	716	552	450	255	186	121
	ネットワーク	892	690	562	319	233	151

10章 初期設定値一覧

工場出荷時、初期設定は以下のようになっています。

分類	項目	設定値
タスクバー	ハイライトの項目	アラーム出力、音声（消音）
ログイン	ユーザー	管理者
	パスワード	1111
画面表示	OSD表示	ON
	OSD表示コントラスト	100
	画面自動切換え	ON
	画面自動切換え周期	3秒
	ネーム	CH1/CH2/CH3/CH4
	映像非表示	OFF（全CH同様）
	輝度	50（全CH同様）
	コントラスト	40（全CH同様）
	色合い	50（全CH同様）
	彩度	50（全CH同様）
	VGA解像度	1024x768
録画（全CH同様）	解像度	D1
	録画フレーム	30FPS
	画質	高画質
	録画モード	常時録画
	センサー録画	--
	イベント前記録	1分
	イベント後記録	10秒
	音声	OFF
	スケジュール	すべてクリア
デバイス	アラーム出力1	すべて「--」 / アラーム持続時間 : 5秒
	ブザー	OFF
	コントローラー	---- / スピード : 9600 / ID : 0
	PTZ	カメラ : ---- / スピード : 9600 / ID : 0（全CH同様）
	モーション領域	全領域（全CH同様）
	モーション感度	5（全CH同様）

分類	項目	設定値
デバイス	ボタン音	OFF
	リモコンID	0
	センサー＞タイプ	OFF（1～4同様）
録画装置	上書き	ON
	記録保存日数制限	OFF
	HDD温度感知設定	温度上限 ： 60℃（140F） アラーム ： ON ブザー ： ON
システム	DVR ID	DVR
	言語	JAPANESE
	日付の形式	YYYY/MM/DD
	サマータイム	OFF
	クライアントアクセス	ON
	NTP	OFF
	メール送信	OFF
セキュリティー	使用者権限	パスワード ： 1111（すべて同様） すべての項目にチェック入
	データ検索権限	すべての項目にチェック入
ネットワーク	ポート番号	5445
	ネットワークオーディオポート	5446
	WEBポート	80
	ネットワークタイプ	DHCP
	IPアドレス	0.0.0.0
	サブネットマスク	0.0.0.0
	ゲートウェイ	0.0.0.0
	DNS（第1）	0.0.0.0
	DNS（第2）	0.0.0.0
	DDNS	OFF
	ネットワークストリーム	解像度 ： CIF（全CH同様） フレーム ： 15（全CH同様） 画質 ： 最高画質（全CH同様）
簡単設定	簡単設定を適用	チェック外れ

11章 製品仕様

品番			EHVR-1000
本体仕様	カメラ接続 CH 数		1～4CH
	操作性基本コンセプト		マウス、本体前面パネル、リモコン
ハードウェア仕様	電源電圧		AC100V
	消費電力		最大 10W
	動作温度（湿度）		5～40℃ （0～90%）
	質量		2.3kg
	外形寸法		340（幅）×63（高さ）×262（奥行）mm
ライブ機能	モニター出力		VGA ／ CVBS（スポット可）
	画面自動切換え		3～60 秒
	PTZ コントロール		○（RS-485）
	画面スナップショット		○（JPEG）
音声機能	音声入力		LINE レベル 4CH（RCA）
	音声出力		LINE レベル 1CH（RCA）
録画機能	圧縮形式		H.264
	録画モード		常時 ／ モーション ／ センサー ／ スケジュール ／ 手動
	解像度		D1 ／ Half D1 ／ CIF
	最大フレーム数		120fps（4CH 合計）
	モーション検知		全画面 ／ 選択領域
	イベント前録画		15 秒～20 分
	イベント後録画		10～60 秒
再生機能	検索モード		タイムライン ／ イベント ／ キャプチャーリスト ／ ログ ／ 日時指定
	再生速度	1 画面	最大 64 倍速
		分割画面	最大 32 倍速
バックアップ	ファイル形式		AVI ／ H.264（独自フォーマット）
	保存メディア		USB メモリ ／ クライアント PC の HDD
アラーム	センサー入力		4 入力（NC ／ NO 選択可）
	アラーム出力		1 出力（センサー入力、モーション、VIDEO LOSS）

※仕様は改良の為、予告無く変更することがあります。

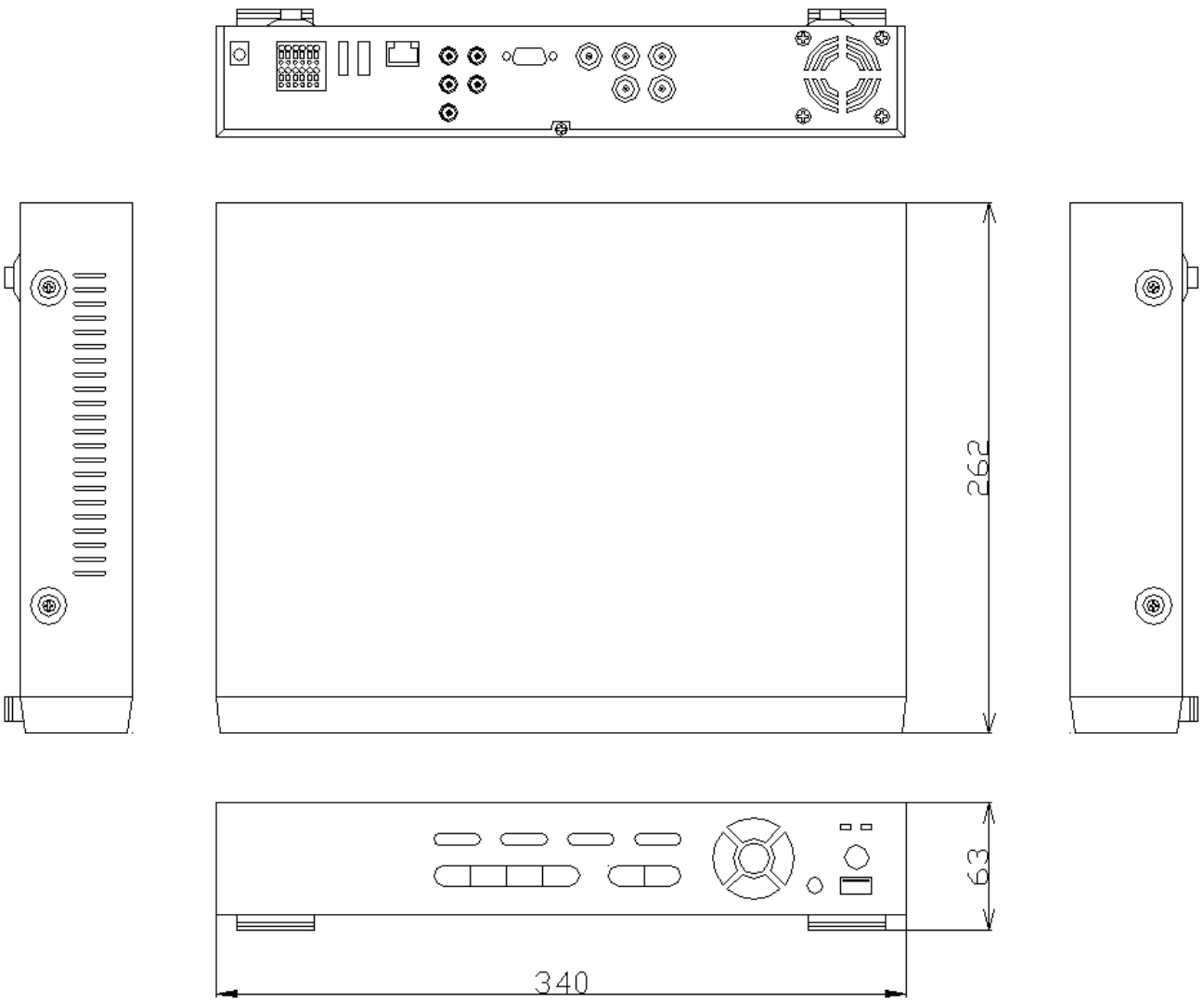
ネットワーク	クライアントソフト	ライブ監視 / データ検索・再生 / バックアップ / PTZ コントロール
	WEB クライアント	ライブ監視 / データ検索・再生 / バックアップ / PTZ コントロール
	デュアルストリーム	CIF 60fps
その他	ブザー音	VIDEO LOSS / HDD エラー
	多言語	○
	ファームウェア更新	USB メモリ / ネットワーク経由の遠隔更新
	ネットワーク時刻同期	○
	遠隔設定	○
原産国		韓国

※仕様は改良の為、予告無く変更することがあります。

推奨クライアント PC仕様	動作確認済み OS	Windows XP / Vista / 7
	CPU	Intel Pentium4 1.4GHz 以上
	メモリ	512MB（推奨 : 1GB 以上）
	VGA	64MB（推奨 : 128MB 以上）
	解像度	1024 x 768
	Network	100M/1000M 以上
	グラフィックカード	DirectX 9 以上

※仕様は改良の為、予告無く変更することがあります。

12章 外形寸法図



単位:[mm]

2012.1.11　3.1 版

保証書

品番	EHVR-1000	販売店名
シリアルナンバー(S/N)		
お買い上げ年月日		
保証期間	商品お買い上げ後 **1 年間**	
会社名		
ご住所		
ご担当者		
電話番号		

※お願い:お買い上げ時に必ずご記入下さい。本書は大切に保存して下さい。
再発行は致しません。

<保証規定>

1. 取扱説明書に記載された正常な使用状態で、保証期間中に万一故障を起こした場合、
   無償にて修理致します。
   販売会社もしくは弊社へ本ページを切り取ってお申し付け下さい。

<保証条件>

次に該当する故障は保証期間であっても実費にて修理を申し受けます。

1. 取扱説明書にない誤った取扱い、不当な修理・改造を受けた製品の故障。
   また故意・不注意による損傷に起因する故障。
2. 災害など不可抗力による損傷。
3. 本書上記項目に必要事項の記入がない場合。また本書の提示がない場合。

<メンテナンスについて>

1. 防犯・監視用途でご使用の場合、定期的メンテナンス(点検・保守)をお勧め致します。
   詳しくはお買い上げ販売店(又は工事店)にご確認下さい。

株式会社ケービデバイス

本社　〒600-8076 京都府京都市下京区高辻通柳馬場西入泉正寺町 465-2 たかくらビル 301
TEL　075-354-3372　FAX　075-354-3382